OKI

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5300

ユーザーズマニュアル
（セットアップ編）

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

安全にお使いいただくために

本製品を安全に使用していただくために、ご使用前に必ずユーザーズマニュアル(本書)をお読みください。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

一般的な注意

⚠警告	
	プリンタ内部の安全スイッチに触れないでください。 高電圧が発生し感電のおそれがあります。また、ギヤが回転するのでケガのおそれがあります。
	プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。 プリンタ内部には高温になる部分があるので火災のおそれがあります。
	カバーが異常に熱くなったり、煙が出たり、変なにおいがしたり、異常な音がする場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	水などの液体がプリンタ内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 火災のおそれがあります。
	クリップなどの異物をプリンタ内部に落とした場合は、電源プラグをコンセントから抜いて異物を取り出してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	ユーザーズマニュアルに指示している以外の操作や分解は行わないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	プリンタを落下させたり、カバーを傷つけた場合は、電源プラグをコンセントから抜いてOAコールセンタへ連絡してください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	電源コード、プリンタケーブル、アース線は、ユーザーズマニュアルで指示されている以外の接続は行わないでください。 火災のおそれがあります。

⚠警告

	通気口に物を差し込まないでください。 感電、火災、ケガのおそれがあります。
	水の入ったコップなどをプリンタの上にのせないでください。 感電、火災のおそれがあります。
	プリンタのカバーを開けたときは、定着器ユニットに触れないでください。 やけどのおそれがあります。
	トナーカートリッジ、イメージドラムカートリッジを火の中に投じないでください。粉じん爆発によりやけどのおそれがあります。

⚠注意

	電源投入時および印刷中は、用紙の排出部に近づかないでください。 ケガをするおそれがあります。

本書の見方

表　記

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 5300 → ML5300
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → WindowsXP
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → WindowsMe
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- WindowsXP、WindowsMe、Windows98、Windows95、Windows2000、WindowsNT4.0、の総称→ Windows
- PostScript3 エミュレーション→ PSE、POSTSCRIPT3 エミュレーション、POSTSCRIPT3 EMULATION

マーク

プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。
誤った操作をしないため、必ずお読みください。

プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。
お読みになることをお勧めします。

諸注意

紙幣、有価証券などの印刷について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律　　刑法　第 148 条、第 149 条、第 162 条
　　　　　　通貨及証券模造取締法　第 1 条、第 2 条　等

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

高調波規制について

この装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。
また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

商標について

MICROLINEは株式会社沖データの商標です。
OKIは沖電気工業株式会社の登録商標です。
Microsoft、Windows、WindowsNTは、米国Microsoft Corporationの米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
Apple、Macintosh、MacOS、EtherTalk、LaserWriterおよびTrueTypeは、米国Apple Computer Inc.の米国及び、その他の国における登録商標または商標です。
PostScriptは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。
Scalable FontはAgfa Monotype Corporationからライセンスされています。
CG OmegaはAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG TimesはThe Monotype CorporationのライセンスをうけたTimes New Romanを基にしたAgfa Monotype Corporationの製品です。
TaffyはAdobe Tekton Regularに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CandidはAdobe Cartaに対応するAgfa Monotype Corporationの製品です。
CG、Candid、TaffyはAgfa Monotype Corporationの各国での登録商標または商標です。
Univers、Helvetica、Palatino、TimesはLinotype-Hell AGあるいはその子会社の各国での登録商標または商標です。
ITC Avant Garde Gothic、ITC Bookman、ITC Zapf DingbatsはInternational Typeface Corporationの各国での登録商標または商標です。
Arial、Times New Roman、Albertus、Gill SansはThe Monotype Corporation plc.の各国での登録商標または商標です。
WingdingsはMicrosoft Corporationの各国での登録商標または商標です。
AgfaからライセンスされたMarigoldはArthur Bakerの各国での登録商標または商標です。
平成明朝体W3、平成角ゴシック体W5は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可無く複製することはできません。
その他各社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。

本書について

1.本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2.本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気付きの点がありましたらお買い求めの販売店にご連絡ください。
4.本書の内容に関して、運用上の影響につきましては3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

マニュアルの版権について

使用許諾契約

以下に記載されているものは、お客様がプリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に同意して頂いたソフトウェア使用許諾契約書の内容です。

お客様へのお願い

プリンタのパッケージ内の製品をご使用になる前に、この本契約書を必ずお読み下さい。
お客様がこのパッケージ内の製品をご使用された場合には、本契約に同意いただいたものとみなします。
もし、本契約書の条項を承認いただけない場合には、速やかにお客様が購入された販売店に返却して下さい。

株式会社沖データ（以下「沖データ」といいます）は、お客様に対し下記条項に基づきこのパッケージに収納されているソフトウェア（ただし、Adobe Acrobat Reader は除くものとし、以下「本ソフトウェア」といいます。）を非独占的に使用する権利を許諾します。沖データは本ソフトウェアをお客様に使用許諾する権利を有しております。

本ソフトウェアに含まれている Windows Me/98/95 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows NT4.0 用 PostScript® プリンタドライバ、Windows Me/98 用 USB ドライバおよびそれに関連する説明資料（以下総称して、「マイクロソフトソフトウェア」といいます。）は、米国ワシントン州法に準拠して設立され、米国ワシントン州（One Microsoft Way, Redmond, WA 98052-6399）に本店を置く Microsoft Corporation（マイクロソフト社）からのライセンスに基づいて沖データが提供するものです。

1. 使用範囲
   お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有する場合に限り、当該プリンタに直接またはネットワークを通じて接続される複数のコンピュータにプログラムをインストールして、本ソフトウェアを使用することができます。また、お客様は、バックアップの目的として本ソフトウェアを 1 部複製することができます。

2. 財産権および義務
   (1)本ソフトウェアおよびその複製物の著作権、版権、所有権は沖データまたは沖データのライセンサーにあります。本ソフトウェアの構成、編成、コードは沖データ及び沖データのライセンサーの業務上の重要な機密事項及び機密情報にあたります。本ソフトウェアは米国及び日本国の著作権法ならびに国際条約及びその使用される国において適用される法律の保護を受けており、書籍その他の著作物と同じに扱われなければなりません。
   (2)第 1 条に定めた複製を除いて、本ソフトウェアの一部または全部の複製、貸与、レンタル、リース、譲渡、使用許諾することはできません。
   (3)お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。
   (4)お客様は本ソフトウェアのファイル名を変更しないことに同意します。
   (5)お客様には本契約で認められた権利を除き、本ソフトウェアに関するいかなる権利も付与されません。

3. 期間
   (1)お客様への本ソフトウェアの使用許諾は、本契約が解除されるまで有効です。
   (2)お客様は、本ソフトウェアおよびその複製物を全て破棄および消去することにより、本契約を解除することができます。
   (3)お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様に対してライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびその複製物の全てを破棄および消去し、本ソフトウェアの使用を中止するものとします。

4. 保証
   (1)沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアに関して、以下のことを含む一切の保証をするものではありません。
   ・本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   ・本ソフトウェアに瑕疵がないこと。
   ・第三者の権利を侵害していないこと。
   ・特定の目的に適合していること。
   (2)本ソフトウェアは、予告なく改良、変更することがあります。

5. 責任の限定
   沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、沖データがたとえそのような損害の発生の可能性について知らされていたとしても、また、それらの損害についての請求が不法行為(過失を含むがこれに限定されない)に基づくものであれ、その他の如何なる法律上の根拠に基づくものであれ、お客様に対して一切責任を負わないものとします。また、本ソフトウェアまたは本ソフトウェアに関連して生じた、第三者からなされるいかなる請求についても、沖データ及び沖データのライセンサーはお客様に対して一切責任を負担しないものとします。

6. 準拠法
   本契約中のうち、マイクロソフトソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め、米国ワシントン州法を準拠法とし、マイクロソフトソフトウェアを除く本ソフトウェアについての使用許諾契約に関しては、契約の成立も含め日本法を準拠法とします。

7. 契約の有効性
   本契約の一部が無効で法的拘束力がないとされた場合には、本契約の他の部分の有効性には影響を与えず、他の部分は有効かつ法的拘束力をもつものとします。

8. 輸出管理
   本ソフトウェアは、米国および日本国の輸出管理法、その他の関連法令・規則で禁止されている国へは輸出されないものとし、またかかる法令・規則で禁止されている態様で使用されないものとします。お客様は、適切な米国 及び日本政府の輸出許可を得ずに本ソフトウェアや本ソフトウェアから作られた製品を輸出、再輸出しないことに同意します。もし、お客様がこの条項に違反された場合、自動的にこの契約は解除されるものとします。

9. 完全な合意
   お客様は、本契約を読んでこれを理解したこと、および本契約がお客様に対する本ソフトウェアのライセンスについて沖データとお客様との間の事前の口頭、書面またはその他の通信手段による一切の合意に優先するお客様と沖データとの間の完全かつ唯一の合意であることを確認します。また本契約に基づくお客様の義務は、本契約に基づいてライセンスされる権利の保有者すべてに対する義務を構成するものとします。

10. Notice to U.S. Government End Users（米国政府機関のエンドユーザへの注意）
   All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued on or after December 1, 1995 is provided with the commercial license rights and restrictions described elsewhere herein. All Software provided to the U.S. Government pursuant to solicitations issued prior to December 1, 1995 is provided with "Restricted Rights" as provided for in FAR, 48 CFR 52.227-14 (JUNE 1987) or DFAR, 48 CFR 252.227-7013 (OCT 1988), as applicable.
   本条項中で使用される "Software" とは、本契約中で定義される本ソフトウェアを指すものとします。

＊＊＊＊＊

なお、本ソフトウェアには、個別に使用許諾契約を有するものが含まれている場合がありますが、個別の使用許諾契約に同意された場合には、そのソフトウェアに関してはそれぞれの個別の使用許諾契約が優先されるものとします。

※ Adobe Acrobat Reader の使用について
Acrobat Reader は沖データがアドビシステム社との契約に基づきお客様に配布するものです。お客様は Acrobat Reader に含まれているエンドユーザー使用許諾契約書に同意することにより、アドビシステム社から Acrobat Reader の使用を許諾されることになります。

目　次

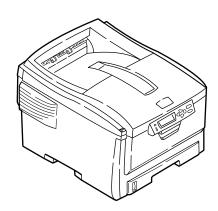
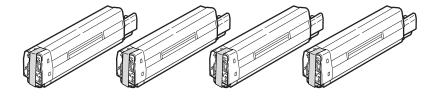
1 プリンタを設置します

製品の確認

製品が揃っていることを確認してください。

⚠注意	ケガをするおそれがあります。	

このプリンタは重量が約25Kg ありますので、2人以上で持ち上げてください。

□ プリンタ（本体）

□ トナーカートリッジ（4個）

□ プリンタソフトウェア CD-ROM
□ LED レンズクリーナ
□ 電源コード
□ 保証書・ご愛用者登録カード
□ ユーザーズマニュアル(セットアップ編)(本書)
□ ユーザーズマニュアル(リファレンス編)
□ クイックガイド
□ クイックガイド専用袋

- プリンタケーブルは添付されていません。お使いのコンピュータに合わせて別途用意してください。
- イメージドラムカートリッジはプリンタ内部にセットされています。
- 梱包箱、緩衝材はプリンタを輸送するときに使います。捨てずに保管してください。

MICROLINE プリンタの特長

600DPIの高画質

1インチあたり600個の発光ダイオードを集合したLEDヘッドを搭載。スムージング技術に依存しない真の600DPIの高解像度、高画質を実現しています。

ポストスクリプト3エミュレーション *1とPCL5cを搭載

デスクトップパブリッシングの標準ページ記述言語、日本語対応ポストスクリプト3エミュレーションを搭載。本格的なDTP印刷ができます。また、PCL5c言語も搭載しています。

アウトラインフォントを内蔵

PSモードでは日本語2書体と欧文136書体 *2のアウトラインフォントを内蔵。大きな文字もギザギザのない高品質な印刷ができます。PCLモードでは日本語2書体と欧文80書体のアウトラインフォントを内蔵しています。

高速印刷

印刷制御部にPowerPC750CXEプロセッサを採用。印刷処理を高速に行うことができます。4連LEDヘッドを使用したシングルパスカラー方式で印刷することによりA4用紙（A4縦送り、片面印刷時）をカラー印刷では最大12枚/分（コピーモード）、モノクロ印刷では最大20枚/分（コピーモード）で印刷できます。

多彩な給紙機能

普通紙300枚（連量70kg紙）を連続給紙する用紙カセットと、はがき・封筒・ラベル紙・OHPシートを連続給紙できるマルチパーパストレイを標準装備。オプションで普通紙530枚の連続給紙が可能なセカンドトレイユニット、用紙の両面に印刷できる両面印刷ユニットを用意しています。

インタフェースの自動切り替え

パラレルとUSB、ネットワーク （100BASE-TX/10BASE-T）のインタフェースを標準装備。データの来た順に自動的に切り替わります。

Hi-Speed USB対応*

従来のUSBに対して、転送速度が最高40倍に向上しました。

＊ USB2.0の「Hi-Speed」モード（最大転送速度480Mbps）で使用するには、WindowsXP/2000で、USB2.0対応のインタフェースを搭載しているコンピュータを使用し、Microsoft社が公開しているUSB2.0ドライバがインストールされている必要があります。

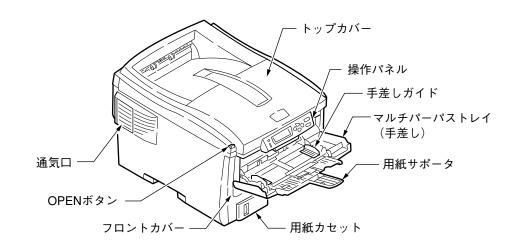
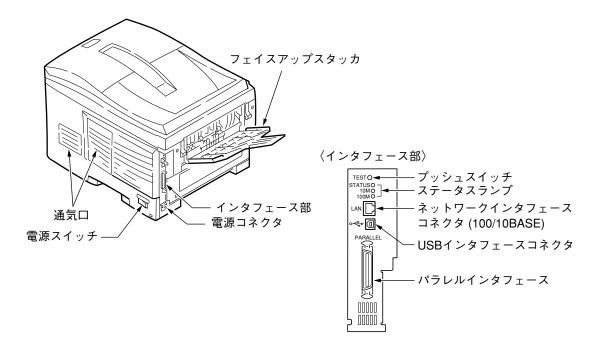
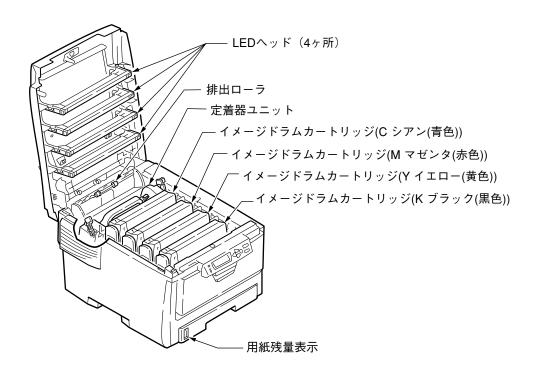
環境対応

交換時期の異なるトナーとイメージドラムを別ユニットに分離。廃棄物を最小限に抑え、地球環境の保全に十分配慮しています。さらに、待機時の電力消費を抑える省電力モードやオゾンフリープロセスなど使う人に優しい設計です。

*1：Webプリントには対応していません。
*2：OSによって使用できる書体に制限があります。Mac OS Xでは使用できません。

1章

プリンタ各部の名前

LEDヘッド（4ヶ所）
排出ローラ
定着器ユニット
イメージドラムカートリッジ(C シアン(青色))
イメージドラムカートリッジ(M マゼンタ(赤色))
イメージドラムカートリッジ(Y イエロー(黄色))
イメージドラムカートリッジ(K ブラック(黒色))
用紙残量表示

操作パネル

「オンライン」ランプ（緑）

点灯： データを受信できる状態です。
（オンライン）

点滅： 受信したデータを処理しています。

消灯： データを受信できない状態です。
（オフライン）

「点検」ランプ（赤）

点灯： ワーニングが発生しました。印刷は可能です。

点滅： エラーが発生しました。印刷できません。

消灯： 通常状態です。

表示部

プリンタの状態や、障害が発生したときの内容を表示します。1行16文字で2行に表示します。

「オンライン」スイッチ

オンライン中：オフラインに移行します。

オフライン中：オンラインに移行します。

メニュー中： メニューを抜けてオンラインに移行します。

エラー中： 「nnn：tttttt　ヨウシ　ガ　チガイマス」、「nnn：tttttt　サイズ　ガ　チガイマス」が表示されている場合は、現在セットされている用紙で強制的に印刷を実行します。
また、「mmm　ヲ　MPトレイニ　イレテ／オンライン　スイッチ　ヲ　オシテクダサイ」が表示されている場合は、MPトレイに用紙セット後、このスイッチを押すと印刷します。

「キャンセル」スイッチ

オンライン中：2秒以上押すと、処理中の1ジョブをキャンセルします。印刷中のジョブは印刷を中止して削除されます。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。

オフライン中：2秒以上押すと、印刷または受信中断中のジョブを削除します。

メニュー中： メニューを抜けてオンラインに移行します。処理中のジョブがあってもジョブの削除は行いません。

エラー中： 「nnn：ttttt　サイズガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　チガイマス」、「nnn：ttttt　ヨウシガ　アリマセン」、「nnn：トレイ1　ガ　アイテイマス」、「nnn：トレイ1　ガ　アリマセン」が表示されている場合、2秒以上押すと処理中の1ジョブを削除します。受信中のジョブはそのジョブの区切りまで受信して削除されます。

「メニュー＋」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

メニュー中：　メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を先に進めます。2秒以上押すと早送りします。

「メニュー－」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

メニュー中：　メニューの表示内容（カテゴリ、項目、値）を手前に戻します。2秒以上押すと早戻しします。

「設定」スイッチ

オンライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

オフライン中：メニューモードに入り、先頭のカテゴリを表示します。

メニュー中：（カテゴリ表示中）表示カテゴリの先頭項目および値を表示します。

（項目表示中）値表示を点滅させ、内容の変更を可能にします。

（値点滅表示中）メニューの値を確定します。

「戻る」スイッチ

オンライン中：メニューを抜けてオンラインに移行します。

オフライン中：無効です。

メニュー中：（カテゴリ表示中）メニューを抜けてオンラインに移行します。

（項目表示中）表示項目のカテゴリを表示します。

（値点滅表示中）値の点滅表示を止め、確定値を表示します。

設置条件

動作環境

- 次の温度、湿度を満足する場所に設置してください。
  - 周囲温度　：　10～32°C
  - 周囲湿度　：　20～80%RH（相対湿度）
  - 最大湿球温度：　25℃
- 結露しないように注意してください。
- 周囲湿度が30%以下の場所に設置する場合は、加湿器または静電気防止マットなどを使用してください。

設置に関する注意

⚠警告

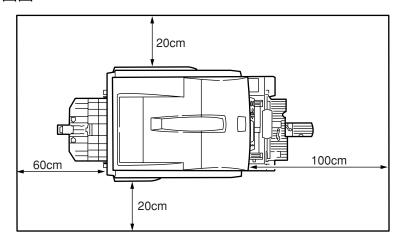
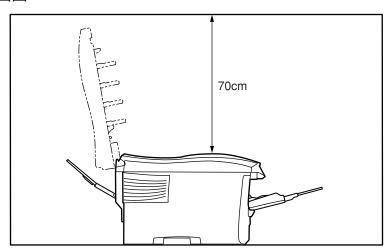
- 高温や火気の近くには設置しないでください。
- 化学反応を起こすような場所（実験室など）には設置しないでください。
- アルコール、シンナーなどの引火性溶液の近くには設置しないでください。
- 小さなお子さまの手の届く所には設置しないでください。
- 不安定な場所（ぐらついた台や傾いた所など）には設置しないでください。
- 湿気やほこりの多い場所、直射日光の当たる場所には設置しないでください。
- 潮風、腐食性ガスの環境には設置しないでください。
- 振動が多い場所には設置しないでください。

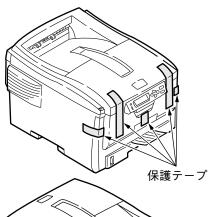
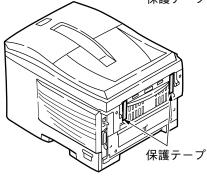
⚠注意

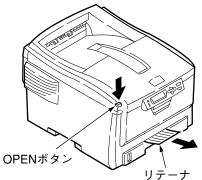
- プリンタの通気口をふさぐような場所には設置しないでください。
- 毛足の長いジュータンやカーペットの上には直接設置しないでください。
- 密室などの通気性、換気性の悪い場所には設置しないでください。
- 強い磁界やノイズの発生源から離して設置してください。
- モニタやテレビから離して設置してください。
- プリンタを移動するときは、プリンタの両側を持ってください。
- このプリンタは重量が約25kgありますので、2人以上で持ち上げてください。

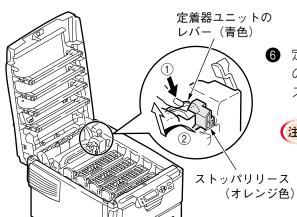
設置スペース

- プリンタの足が乗る大きさの平らな机の上に置いてください。
- プリンタの周りに十分なスペースを取ってください。

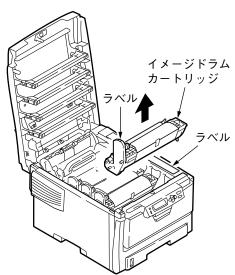
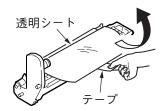
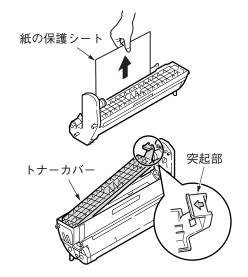
平面図

側面図

付属品を取り付けます

1 保護具を取り外します。

❶ プリンタ前面の保護テープ（5ヶ所）と紙をはがします。

❷ プリンタ後面の保護テープ（2ヶ所）をはがします。

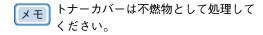
❸ 用紙カセットを抜きます。

❹ リテーナを手前側に引き抜きます。

❺ OPENボタンを押し下げ、トップカバーを開きます。

❻ 定着器ユニットのレバー（青色）を矢印①の方向へ押し下げながら、ストッパリリース（オレンジ色）を取り外します。

注 ストッパリリースはプリンタを輸送するときに使います。必ず保管してください。

2 イメージドラムカートリッジをセットします。

❶ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに取り出します。

❷ 透明シートを止めているテープをはがし、矢印の方向に引き抜きます。

❸ イメージドラムカートリッジから紙の保護シートを矢印の方向に引き抜きます。

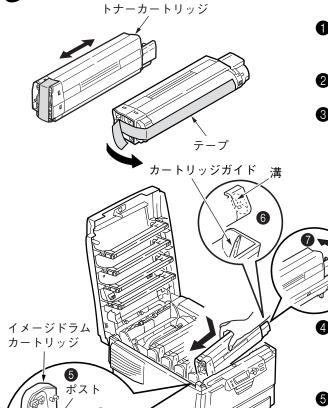
❹ 突起部を内側に押しながらトナーカバーを取り外します。

メモ　トナーカバーは不燃物として処理してください。

❺ イメージドラムカートリッジのラベルの色とプリンタのラベルの色を合わせます。

❻ イメージドラムカートリッジ（4個）を静かに戻します。

- イメージドラム（緑の筒の部分）は、非常に傷つきやすいため取り扱いには十分注意してください。
- イメージドラムカートリッジは、直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。室内の照明の下でも5分間以上は放置しないでください。

1章

3 トナーカートリッジをセットします。

❶ トナーカートリッジ（4個）を包装袋から取り出します。

❷ 縦と横に数回振ります。

❸ トナーカートリッジを水平にして、テープをゆっくりはがします。

❹ トナーカートリッジのラベルの色とイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っていることを確認します。

❺ テープをはがした面を下にして、トナーカートリッジの穴をイメージドラムカートリッジのポストに差し込みます。

❻ トナーカートリッジの右側の溝をカートリッジガイドの突起にしっかり押し込みます。

❼ トナーカートリッジのレバーを矢印の方向に止まるまで回します。

❽ トップカバーを閉じます。

- 製品購入時に添付されているトナーカートリッジは、A4 5%の印刷密度の場合、約1500枚印刷可能です。
- トナーカートリッジを無理に押し込まないでください。きちんと入らずレバーが回らないときは、トナーカートリッジとイメージドラムカートリッジのラベルの色が合っているか確認してください。ラベルの色が一致しないとトナーカートリッジは取り付けられないようになっています。
- トナーカートリッジがきちんと固定されていないと、印刷品質が低下することがあります。
- トナーカートリッジを取り付けた後に、操作パネルの［トナーヲ　コウカンシテクダサイ］の表示がいつまでも消えないときは、上記の手順に従ってトナーカートリッジが正しくセットされているか確認してください。
- 操作パネルに［トナーセンサー　エラー］が表示された場合、トナーカートリッジが正しくセットされていない可能性があります。トナーカートリッジが正しくセットされ、トナーカートリッジのレバーが止まるまで回されているか確認してください。

4 用紙カセットに用紙をセットします。

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で300枚）

❺ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❻ 用紙カセットをプリンタに戻します。

電源を入れます

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V ± 10%
  電源周波数　：　50Hz または 60Hz ± 2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は 850W です。電源容量に十分余裕があることを確認してください。

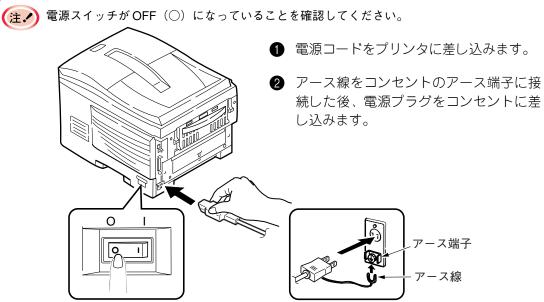
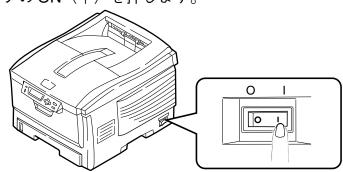
⚠警告

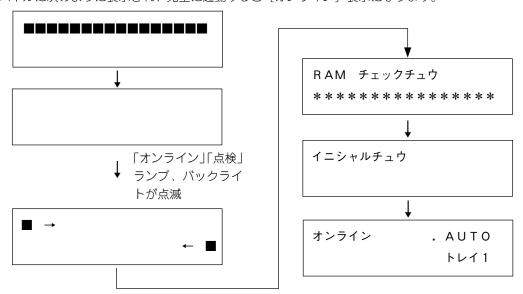
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードのみで使用してください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長時間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

1 電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

❶ 電源コードをプリンタに差し込みます。

❷ アース線をコンセントのアース端子に接続した後、電源プラグをコンセントに差し込みます。

2 電源スイッチのON（｜）を押します。

操作パネルに次のように表示され、完全に起動すると［オンライン］表示になります。

1
章

電源を切ります

内蔵ハードディスクを取り付けている場合は、いきなり電源を切らずに下記の手順で電源を切ります。

- いきなり電源を切ると、内蔵ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。
- ［シャットダウン　メニュー］はオプションの内蔵ハードディスク装着時のみ表示されます。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチを数回押し、［シャットダウン　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押し、［シャットダウン　スタート／ジッコウ］を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押します。

［シャットダウン］と表示され、シャットダウン処理が開始されます。

❹ ［デンゲンヲ　キッテクダサイ／シャットダウン　カンリョウ］が表示されたら、電源スイッチのOFF（O）を押します。

メニューマップ印刷をします

プリンタが正常に動作することを確認します。

❶ トレイにA4用紙をセットします。

❷ 「メニュー+」スイッチを数回押し、[インフォメーション　メニュー]を表示します。

❸ 「設定」スイッチを押し、[メニューマップ　インサツ／ジッコウ]を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

メニューマップ印刷が開始されます。(2枚)
続いてネットワークの設定情報(Network Information)が印刷されます。(4枚)

(サンプル)

MenuMap　　MICROLINE 5300

Printer Serial Number:N31131B　13 302A 1002007　プリンタ管理番号:
CU version:X1.27 [I00.92 S2.3.0q B02.60(FB) PPC750CX 400MHz 00082202 00020010 F33 J0]
PU version:01.01.08 [PI02.12 L000.09.19]　ET:0002020505041D191F00000000000000
PCL Program version:01.45 [0A.16 X00.32 P F]
PSE Program version:3010, PSE67 00.01　　DIMM Slot A:CU Program ROM
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F33]
HDD:uninstalled
JP1　DPR:1.1 23

項目	設定
インフォメーションメニュー	
メニューマップ印刷	
ファイルリスト印刷	
PCLフォント印刷	
PSEフォント印刷	
DEMO1	
エラーログ印刷	
印刷メニュー	
コピー枚数	1
給紙トレイ	トレイ1
自動トレイ切り替え	オン
トレイ選択順序	下方向
MPトレイの使い方	使用しない
用紙チェック	有効
解像度	600DPI
トナーセーブモード	オフ
モノクロ印刷速度	自動
印刷方向	縦
1ページ行数	64 行
編集サイズ	カセット用紙サイズ
メディアメニュー	
トレイ1用紙サイズ	A4
トレイ1用紙タイプ	普通紙
トレイ1用紙厚	普通紙
MPトレイ用紙サイズ	A4
MPトレイ用紙タイプ	普通紙
MPトレイ用紙厚	普通紙
用紙サイズ設定単位	ミリメートル
カスタム用紙幅	210 ミリメートル
カスタム用紙長さ	297 ミリメートル
カラーメニュー	
自動濃度補正モード	自動
濃度補正	
カラー調整	
シアン HIGHLIGHT	0
シアン MID-TONE	0
シアン DARK	0
マゼンタ HIGHLIGHT	0
マゼンタ MID-TONE	0
マゼンタ DARK	0
イエロー HIGHLIGHT	0
イエロー MID-TONE	0
イエロー DARK	0
ブラック HIGHLIGHT	0
ブラック MID-TONE	0
ブラック DARK	0
シアン濃度	0
マゼンタ濃度	0
イエロー濃度	0
ブラック濃度	0
自動色ずれ補正	
シアン位置ずれ微調整	0
マゼンタ位置ずれ微調整	0
イエロー位置ずれ微調整	0
インクシミュレーション	オフ
UCR	少ない
CMY100%濃度	無効
CMYK変換	オン

項目	設定
システム構成メニュー	
パワーセーブ移行時間	60 分
動作モード	自動
セントロ PS-プロトコル	ASCII
USB PS-プロトコル	RAW
NET PS-プロトコル	RAW
アラーム解除	オン
エラー自動解除	オフ
マニュアルタイムアウト	60 秒
タイムアウト印刷	40 秒
トナー不足印刷継続	継続
ジャムリカバー	オン
エラーレポート印刷	オフ
言語	日本語
PCL エミュレーション	
使用フォント	内蔵フォント
フォントNo.	I000
フォントサイズ	12.00 ポイント
シンボルセット	WIN3.1J
A4印字幅	78 桁
白紙ページ除外	オフ
CR 動作	CR のみ
LF 動作	LF のみ
印刷領域	ノーマル
イメージ黒選択	混合黒
ペン幅補正	オン
セントロ メニュー	
セントロ	有効
双方向セントロ	有効
ECP	有効
ACK幅	狭い
ACK/BUSYタイミング	ACK IN BUSY
I-PRIME	無効
オフライン受信	無効
USBメニュー	
USB	有効
ソフトリセット	無効
SPEED	480Mbps
オフライン受信	無効
NETWORK MENU	
TCP/IP	ENABLE
NETBEUI	ENABLE
NETWARE	ENABLE
ETHERTALK	ENABLE
FRAME TYPE	AUTO
IP ADDRESS SET	MANUAL
IP ADDRESS	172. 31. 91.141
SUBNET MASK	255.255.255. 0
GATEWAY ADDRESS	172. 31. 91.254
INITIALIZE NIC?	
WEB/IPP	ENABLE
TELNET	ENABLE
FTP	ENABLE
SNMP	ENABLE
LAN	NORMAL
HUB LINK SETTING	AUTO NEGOTIATE
メモリメニュー	
受信バッファサイズ	自動
リソースセーブエリア	オフ
FLASHメモリ 初期化	

1
章

クイックガイドの収納

クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付け、クイックガイドをしまいます。

1 クイックガイド専用袋を裏側にして、両面テープ（2ヶ所）をはがします。

2 クイックガイド専用袋をプリンタに貼り付けます。

注 プリンタの通気口を塞がないように貼り付けてください。

使用するプリンタドライバと接続方法を決めます

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

1 使用するシステム環境とプリンタドライバを選択します。

プリンタドライバには、PSプリンタドライバ、PCLプリンタドライバの2種類があります。
PDF形式、EPS形式のデータを含んだファイルを印刷する場合はPSプリンタドライバの使用を推奨します。
その他の形式のファイルを印刷する場合は、PSドライバ、PCLドライバのどちらでもご使用になれます。

<table>
<tr><th>システム環境</th><th>PSプリンタドライバ</th><th>PCLプリンタドライバ</th></tr>
<tr><td>WindowsXP</td><td>Windows付属</td><td rowspan="6">沖データ製</td></tr>
<tr><td>WindowsMe</td><td rowspan="3">Microsoft製</td></tr>
<tr><td>Windows98</td></tr>
<tr><td>Windows95</td></tr>
<tr><td>Windows2000</td><td>Windows付属</td></tr>
<tr><td>WindowsNT4.0</td><td>Microsoft製</td></tr>
<tr><td>Macintosh
(MacOS8.1〜9.2.2)</td><td>MacOS付属</td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>Mac OS X</td><td>Mac OS X付属</td></tr>
</table>

2 システム環境から接続方法を選択します。

システムによって、接続可能なインタフェースが異なります。

○：使用可能
×：使用不可

Windowsの場合

接続方法 システム環境	ネットワーク	USB インタフェース	パラレル インタフェース
WindowsXP	○	○	○
WindowsMe	○	○	○
Windows98	○	○	○
Windows95	○	×	○
Windows2000	○	○	○
WindowsNT4.0	○	×	○
参考にする章	2章（31ページ）をご覧ください。	3章（125ページ）をご覧ください。	4章（153ページ）をご覧ください。

Macintoshの場合

接続方法 システム環境	ネットワーク	USB インタフェース	パラレル インタフェース
MacOS 8.1〜8.6	○	×	×
MacOS 9.0〜9.2.2	○	○	×
Mac OS X Classic環境	○	×	×
Mac OS X 10.0〜10.1.1	○	×	×
Mac OS X 10.1.2〜10.2.4	○	○	×
参考にする章	5章（169ページ）、7章（191ページ）をご覧ください。	6章（181ページ）、8章（201ページ）をご覧ください。	対応していません。

メモ プリンタドライバの最新対応状況や入手方法については、ユーザーズマニュアル（リファレンス編）付録の「ユーザサポートサービスについて」（372 ページ）をご覧ください。

2 ネットワーク接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

● WindowsXP
WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsMe/98/95
WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● Windows2000
Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

● WindowsNT4.0
WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で、Ethernet 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

イーサネットアドレス（MAC Address）を確認します

ネットワーク接続する場合、プリンタのイーサネットアドレス（MAC Address）を確認する必要があります。

イーサネットアドレス（MAC Address）はネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。ネットワークの設定情報（Network Information）については「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

イーサネットアドレス
（MAC Address）

（例）

Network Information

System Information

Serial Number
Asset Number
System Contact
System Name
System Location

General Information

Network Function Name	MLETB12	Firmware Version	01.09
root password	******		
MAC Address	008087849C9B		
HUB Link Setting	Auto Negotiation		
HUB Link Status	OK (100BASE-TX Half)		
Frame Type	Automatic		
Network Status	Unicast Packets Received	0	
	Packets Transmitted	664	
	Total Packets Received	95	
	Unsendable Packets	0	
	Bad Packets Received	0	

TCP/IP Protocol	Enable
NetBEUI Protocol	Enable
NetWare Protocol	Enable
EtherTalk Protocol	Enable

TCP/IP Configuration

Network Plug and Play(NPnP)			
Discovery	Enable		
Device Name	ML849C9B		
IP Address Set	MANUAL		
		DHCP/BOOTP	Disable
		RARP	Disable
		Non Server Address Resolution(NPnP)	Disable

IP Address	192.168.0.2
Subnet Mask	255.255.255.0
Default Gateway	192.168.0.1
Web Address	http://192.168.0.2
DNS Server (Primary)	0.0.0.0
DNS Server (Secondary)	0.0.0.0
DefaultTTL	255

If your computer can not connect this printer with the browser, set the computer as follows.
Step1:Set IP address of your computer to 192.168.0.xxx
(xxx:exclude 0,254,255 and printer IP address 2 .)
How to set the IP address of the computer?
See the manual of your computer.
Step2:Connect the browser.
Input the Web address to URL field of the browser as follows. http://192.168.0.2
If you will access the local address,set the proxy server setting to disable.

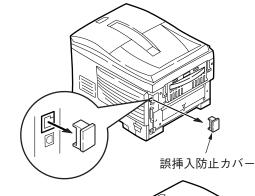
ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

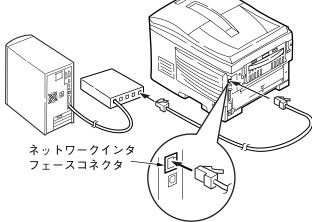
2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ 誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

メモ ネットワーク接続のセットアップ手順は、
WindowsXP の場合、「WindowsXP にセットアップします」（35 ページ）、
WindowsMe/98/95 の場合、「WindowsMe/98/95 にセットアップします」（61 ページ）、
Windows2000 の場合、「Windows2000 にセットアップします」（74 ページ）、
WindowsNT4.0の場合、「WindowsNT4.0にセットアップします」（102ページ）をご覧ください。

WindowsXP にセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 印刷する方法を決めます。

WindowsXP から印刷するためには、OKI LPR ユーティリティを使用する方法、Standard TCP/IP Port を使用する方法、IPP（TCP/IP）を使用する方法の３種類があります。まず、どれを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
OKI LPR ユーティリティ	専用ユーティリティ（OKI LPR ユーティリティ）を使用します。インストールするのは、プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティです。通常はこちらを使用します。
Standard TCP/IP Port	WindowsXP が標準で持っている機能を使用します。インストールするのは、プリンタドライバのみです。
IPP（TCP/IP）	WindowsXP が標準で持っている機能を使用します。ルータやゲートウェイの設定によってはインターネット経由で印刷できます。Standard TCP/IP に比べ印刷速度がやや遅くなります。インストールするのは、プリンタドライバのみです。

2 セットアップの流れ

OKI LPR ユーティリティ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsXP に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「OKI LPR ユーティリティを使用します」(36 ページ) へ進みます。

Standard TCP/IP Port

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsXP に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタの追加から、プリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「Standard TCP/IP Port を使用します」(45 ページ) へ進みます。

IPP（TCP/IP）

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsXP に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタの追加から、プリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「IPP（TCP/IP）を使用します」(53 ページ) へ進みます。

OKI LPR ユーティリティを使用します

OKI LPR ユーティリティを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、BOOTP サーバ、もしくはRARP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり Internet に接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバ（DHCP など）は、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

- プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべて WindowsXP の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタに IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　ネットワークプリンタを設定します」（41 ページ）からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

  コンピュータ
  - IP アドレス　：192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0（使用しません）
  - DNS　：使用しません

  プリンタ
  - IP アドレス　：192.168.0.1～254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0
  - DHCP/BOOTP を使用する ：チェックしない
  - RARP を使用する　：チェックしない
  - サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
  - LAN　：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	：WindowsXP Home Edition
プリンタ	：ML5300（PCL）
IP アドレス	：192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	：192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsXP に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（38 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

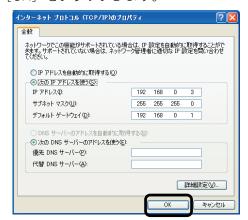
❷［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❸［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❹［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（41 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

2章

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

⑩ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⑪ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⑫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300の代わりにMLETB12と表示されます。

・イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
・初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上にDHCP/BOOTPサーバがある場合はサーバから取得したIPアドレスが表示されます。

⑬ ［設定］メニューの［IPアドレス設定］を選択します。

⑭ IPアドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⑮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

・パスワードは、手順⑫で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
・パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
・パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑯ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

2
章

⑰ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

⑱ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑲ ［TCP/IP］タブの「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力し、［設定］をクリックします。

注 「DNS サーバ」は SMTP プロトコルを使用するときのみ設定します。

⑳ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❸ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

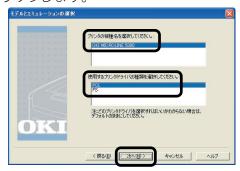
❼ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［TCP/IPプロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

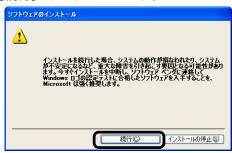
❾ プリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

2章

プリンタのIPアドレスが自動取得の場合や、IPアドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑩ 手順 ❾ でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順 ❾ で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

⑫ 共有するか確認の画面が表示されるので、［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑬ ［続行］をクリックします。

プリンタドライバとOKI LPRユーティリティとNetwork Extensionがインストールされます。

⑭ コンピュータのファイルシステムがNTFSの場合は、アクセス権を変更する画面が表示されますので［はい］をクリックします。

⑮ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⑱ へ進みます。

⑯ ［完了］をクリックします。

⑰ ［終了］をクリックします。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPR ユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

2章

☞ ⑮ からの続き

⑱ ［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

⑲ 再起動後、アクセス権を変更する画面が表示される場合は、［はい］をクリックします。

⑳ 再起動後、OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、［OK］をクリックします。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

5 11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

Standard TCP/IP Port を使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、BOOTP サーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり Internet に接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

- プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべて WindowsXP の場合や、接続しているルータがネットワーク Plug&Play に対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタに IP アドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　ネットワークプリンタを設定します」（50ページ）からセットアップしてください。
- コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

  コンピュータ
  - IP アドレス　：192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0（使用しません）
  - DNS　：使用しません

  プリンタ
  - IP アドレス　：192.168.0.1～254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0
  - DHCP/BOOTP を使用する：チェックしない
  - RARP を使用する　：チェックしない
  - サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
  - LAN　：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: WindowsXP Home Edition
プリンタ	: ML5300（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

2
章

1 プリンタとコンピュータの電源をONにします。

2 WindowsXPにIPアドレス等を設定します。

注 すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタにIPアドレス等を設定します」（47ページ）へ進みます。

❶ Windowsを起動します。

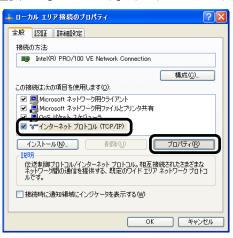
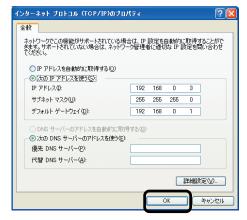
❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❸ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❹ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
・DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「IPアドレスを自動的に取得する」を選択し、IPアドレスは入力しません。
・デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❼ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（50 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

2章

⑩ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⑪ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⑫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⑬ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⑭ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⑮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注

- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑯ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⑰ 一覧より、プリンタを選択し、[設定] メニューの [OKI Device の設定] を選択します。

⑱ [パスワード入力] に [イーサネットアドレスの下6桁] を入力し、[OK] をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑲ [TCP/IP] タブの「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力し、[設定] をクリックします。

注 「DNS サーバ」は SMTP プロトコルを使用するときのみ設定します。

⑳ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

2
章

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面で、［次へ］をクリックします。

❺ ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外します。

❻ ［新しいポートの作成］を選択し、［ポートの種類］に［Standard TCP/IP Port］選択し、［次へ］をクリックします。

❼ ［次へ］をクリックします。

❽ プリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

例）プリンタの IP アドレスが、192.168.0.2 の場合、IP アドレスを入力すると、ポート名は、IP_192.168.0.2 が自動的に入力されます。通常はこのまま使用します。

❾ [カスタム] を選択し、[設定] をクリックします。

❿ [プロトコル] で [LPR] を選択し、[キュー名] に「lp」を入力し、[OK] をクリックします。

⓫ [完了] をクリックします。

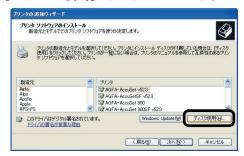
⓬ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⓭ [ディスク使用] をクリックします。

⓮ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

⓯ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

2章

⑯ プリンタ名を入力し、[次へ] をクリックします。

⑰ [次へ] をクリックします。

⑱ [完了] をクリックします。

⑲ [続行] をクリックします。

[プリンタとFAX] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5 11 章「印刷します」(251 ページ) へ進みます。

IPP（TCP/IP）を使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

- プリンタはネットワークPlug&Playに対応しています。接続しているコンピュータがすべてWindowsXPの場合や、接続しているルータがネットワークPlug&Playに対応している場合は、ネットワーク上にサーバが存在しなくても自動的にIPアドレスを設定します。コンピュータとプリンタにIPアドレスを手動で設定する必要はありませんので、「手順4　ネットワークプリンタを設定します」（59ページ）からセットアップしてください。
- コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

  コンピュータ
  - IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0（使用しません）
  - DNS　：使用しません

  プリンタ
  - IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
  - サブネットマスク　：255.255.255.0
  - ゲートウェイ　：0.0.0.0
  - DHCP/BOOTPを使用する：チェックしない
  - RARPを使用する　：チェックしない
  - サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
  - LAN　：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	：WindowsXP Home Edition
プリンタ	：ML5300（PCL）
IPアドレス	：192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	：192.168.0.1

2
章

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsXP に IP アドレス等を設定します。

注 すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（55 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。

❸ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［ネットワーク接続］をクリックします。

❹ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❺ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❻ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❼ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（59 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾［日本語］をクリックします。

2章

⑩ [OKI Device Standard Setup] をクリックします。

⑪ [インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択し、[次へ] をクリックします。

AdminManager が起動します。

⑫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⑬ [設定] メニューの [IP アドレス設定] を選択します。

⑭ IP アドレスを入力し、[OK] をクリックします。

⑮ [パスワード入力] に [イーサネットアドレスの下6桁] を入力し、[OK] をクリックします。

注

- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑯ 設定値を有効にするために [はい] をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は [ファイル] メニューの [検索] を選択してください。

⓱ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

⓲ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注

- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓳ ［TCP/IP］タブの各項目を設定します。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。
③ 「IP アドレス」を入力します。
④ 「サブネットマスク」を入力します。
⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。
⑥ 「FTP/LPDバナーを使用する」のチェックを外します。

- 初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- 「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときのみ設定します。

⓴ ［SNMP］タブの［SysName］にプリンタ名を入力し、［設定］をクリックします。

メモ

プリンタ名は255文字以内の任意の名前を付けてください。デフォルトは「なし（空白）」です。

2章

㉑ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

この時点では、プリンタは送信前の設定値で動作しています。

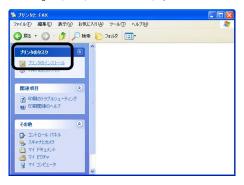
㉒ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

㉓ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］を選択し、［プリンタとその他のハードウェア］をクリックします。

❷ ［コントロールパネルを選んで実行します］の［プリンタとFAX］をクリックします。

❸ ［プリンタのタスク］-［プリンタのインストール］をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザードの開始」画面で、［次へ］をクリックします。

❺ ［ネットワークプリンタ、またはほかのコンピュータに接続されているプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

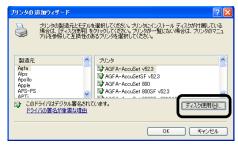
❻ ［インターネット上または自宅/会社のネットワーク上のプリンタに接続する］を選択し、プリンタのURLを入力し、［次へ］をクリックします。

例 1）プリンタの IP アドレスが
「192.168.0.2」の場合
http://192.168.0.2/ipp/lp

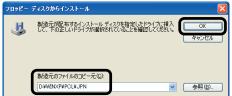
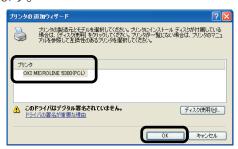
例 2）プリンタの URL が
「ipp-printer1.okidata.co.jp」の場合
http://ipp-printer1.okidata.co.jp/ipp/lp

注 IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。
（例）正しい入力値：
http://192.168.0.2/ipp/lp
誤った入力値：
http://192.168.000.002/ipp/lp

❼ ［ディスク使用］をクリックします。

2章

❽ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

> PS プリンタドライバを使用する場合
> D:¥WINXP¥PS¥JPN
> PCL プリンタドライバを使用する場合
> D:¥WINXP¥PCL¥JPN
> （CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、［OK］をクリックします。

⓫ ［続行］をクリックします。

⓬ ［完了］をクリックします。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5 11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

WindowsMe/98/95 にセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 印刷する方法を決めます。

WindowsMe/98/95 から印刷するためには、OKI LPR ユーティリティを使用する方法、NetBEUI を使用する方法の 2 種類があります。まず、どれを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
OKI LPR ユーティリティ	専用ユーティリティ（OKI LPR ユーティリティ）を使用します。インストールするのは、プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティです。通常はこちらを使用します。
NetBEUI	WindowsMe/98/95 が標準で持っている機能を使用します。小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。インストールするのは、プリンタドライバのみです。

2 セットアップの流れ

OKI LPR ユーティリティ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsMe/98/95にIPアドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「OKI LPR ユーティリティを使用します」（62 ページ）へ進みます。

NetBEUI

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsMe/98/95にNetBEUIプロトコルをインストールします。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」からプリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「NetBEUI を使用します」（70 ページ）へ進みます。

OKI LPR ユーティリティを使用します

OKI LPR ユーティリティを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、BOOTP サーバ、もしくはRARP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり Internetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。

メモ　コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ
- IP アドレス　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
- サブネットマスク　: 255.255.255.0
- ゲートウェイ　: 0.0.0.0（使用しません）
- DNS　: 使用しません

プリンタ
- IP アドレス　: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
- サブネットマスク　: 255.255.255.0
- ゲートウェイ　: 0.0.0.0
- DHCP/BOOTP を使用する　: チェックしない
- RARP を使用する　: チェックしない
- サーバを使用しないアドレス解決　: チェックしない
- LAN　: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows98
プリンタ	: ML5300（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98/95 に IP アドレス等を設定します。

注 すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（64 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMe で［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

［現在のネットワークコンポーネント］に［TCP/IP→*** (***はアダプタ名)］が表示されている場合は?

☞ ❼ へ進みます。

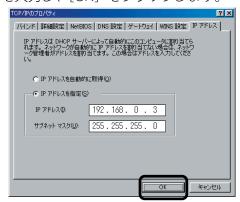
❹ 「ネットワークの設定」タブの［追加］をクリックします。

❺ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［Microsoft］を選択して［TCP/IP］を選択し、［OK］をクリックします。

☞ ❸ からの続き

❼ ［TCP/IP→***］(***はアダプタ名)を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❽ ［IP アドレス］タブで IP アドレス、サブネットマスク、［ゲートウェイ］タブでゲートウェイ、［DNS 設定］タブで DNS を入力し、［OK］をクリックします。

メモ DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得」を選択し、IP アドレスは入力しません。

❾ Windows を再起動します。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（67 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［マイコンピュータ］を開きます。

❹［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾［日本語］をクリックします。

❿［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⓭ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⓮ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⓯ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓰ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓱ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

2章

⑱ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注

- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑲ ［TCP/IP］タブの各項目を設定します。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。

③ 「IP アドレス」を入力します。

④ 「サブネットマスク」を入力します。

⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

⑥ 「FTP/LPDバナーを使用する」のチェックを外します。

注

- 初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- 「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときのみ設定します。

⑳ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ マイコンピュータを開きます。

❸ [ML_COLOR] CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❹ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❻ [プリンタドライバのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

❽ [TCP/IP プロトコル] を選択し、[次へ] をクリックします。

❾ プリンタの IP アドレスを入力し、[次へ] をクリックします。

プリンタの IP アドレスがわからない場合は、[検索するサブネット] を選択し、[次へ] をクリックします。

2 章

❿ 手順❾でプリンタのIPアドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順❾で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティと Network Extension がインストールされます。

⓬ OKI LPRユーティリティのポート変更画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓰へ進みます。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ ［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

⑮ PSプリンタドライバの場合は､プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し､［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して､［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

☞ ⑫ からの続き

⑯ ［再起動する］にチェックを付け､［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⑰ 再起動後、OKI LPR ユーティリティのポート変更画面が表示される場合は､［OK］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され､OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されます。

⑱ PSプリンタドライバの場合は､プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し､［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して､［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

5 11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

2章

NetBEUI を使用します

以下の説明は、Windows98 を例にしています。

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsMe/98/95 を設定します。

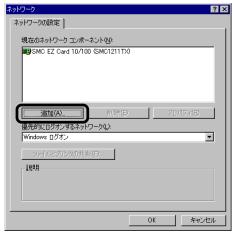
❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックします。
WindowsMe で［ネットワーク］が表示されていない場合は、［すべてのコントロールパネルのオプションを表示する］をクリックします。

［現在のネットワークコンポーネント］に［Microsoft ネットワーククライアント］と［NetBEUI → ***］（*** はアダプタ名）が表示されている場合は?

☞ 手順 3「ネットワークプリンタを設定します」（71 ページ）へ進みます。

［Microsoft ネットワーククライアント］を追加します。

❹ ［追加］をクリックします。

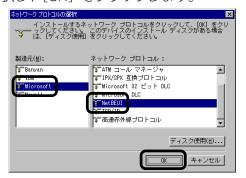
❺ ［クライアント］を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［Microsoft］を選択し、［Microsoft ネットワーククライアント］を選択し、［OK］をクリックします。

［NetBEUI］プロトコルを追加します。

❼ ［追加］をクリックします。

❽ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❾ ［Microsoft］を選択し、［NetBEUI］を選択し、［OK］をクリックします。

❿ Windows を再起動します。

3 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ マイコンピュータを開きます。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ ［Windows］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は⓫へ進みます。

2章

2章

⓫ [Microsoft Network] - [PrintServer] - [ML******] (******はイーサネットアドレスの下６桁) - [PRN1] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 [PrintServer] と [ML******] は、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示される [Work group name] と [Computer name] です。

⓬ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

⓭ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓮ [完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓱ へ進みます。

⓯ [終了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

⓰ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[PostScript] - [詳細設定] - [データ形式] で [タグ付きバイナリ通信プロトコル] を選択して、[OK] をクリックします。[OK] をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

☞ ⑭ からの続き

⑰ ［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

⑱ PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは終了です。

4 11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

Windows2000 にセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 印刷する方法を決めます。

Windows2000から印刷するためには、OKI LPRユーティリティを使用する方法、Standard TCP/IP Port を使用する方法、IPP（TCP/IP）を使用する方法、NetBEUI を使用する方法の４種類があります。まず、どれを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
OKI LPR ユーティリティ	専用ユーティリティ（OKI LPR ユーティリティ）を使用します。 インストールするのは、プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティです。通常はこちらを使用します。
Standard TCP/IP Port	Windows2000 が標準で持っている機能を使用します。 インストールするのは、プリンタドライバのみです。
IPP（TCP/IP）	Windows2000 が標準で持っている機能を使用します。 ルータやゲートウェイの設定によってはインターネット経由で印刷できます。Standard TCP/IP Port に比べ印刷速度がやや遅くなります。 インストールするのは、プリンタドライバのみです。
NetBEUI	Windows2000 が標準で持っている機能を使用します。 小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。 インストールするのは、プリンタドライバのみです。

2 セットアップの流れ

OKI LPR ユーティリティ	Standard TCP/IP Port	IPP（TCP/IP）	NetBEUI
プリンタとコンピュータの電源を ON にします。	プリンタとコンピュータの電源を ON にします。	プリンタとコンピュータの電源を ON にします。	プリンタとコンピュータの電源を ON にします。
↓	↓	↓	↓
Windows2000 に IP アドレス等を設定します。	Windows2000 に IP アドレス等を設定します。	Windows2000 に IP アドレス等を設定します。	Windows2000 に NetBEUI プロトコルをインストールします。
↓	↓	↓	↓
プリンタに IP アドレス等を設定します。	プリンタに IP アドレス等を設定します。	プリンタに IP アドレス等を設定します。	プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。
↓	↓	↓	
プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。	プリンタの追加から、プリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。	プリンタの追加から、プリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。	

☞「OKI LPR ユーティリティを使用します」（75 ページ）へ進みます。

☞「Standard TCP/IP Port を使用します」（84 ページ）へ進みます。

☞「IPP（TCP/IP）を使用します」（92 ページ）へ進みます。

☞「NetBEUI を使用します」（99 ページ）へ進みます。

OKI LPR ユーティリティを使用します

OKI LPR ユーティリティを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上に DHCP サーバ、BOOTP サーバ、もしくはRARP サーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIP アドレスを設定する必要があります。
また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり Internet に接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ

コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ
- IP アドレス：192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
- サブネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：0.0.0.0（使用しません）
- DNS：使用しません

プリンタ
- IP アドレス：192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
- サブネットマスク：255.255.255.0
- ゲートウェイ：0.0.0.0
- DHCP/BOOTP を使用する：チェックしない
- RARP を使用する：チェックしない
- サーバを使用しないアドレス解決：チェックしない
- LAN：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows2000 Professional
プリンタ	: ML5300（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

2章

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows2000 に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（77 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ

- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

注

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」(80 ページ)へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ (AdminManager) を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」(リファレンス編) をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ [マイコンピュータ] を開きます。

❹ [ML_COLOR] CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、[同意する] をクリックします。

❼ [ネットワークユーティリティのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❽ [NICセットアップユーティリティ] を選択し、[インストール] をクリックします。

❾ [日本語] をクリックします。

❿ [OKI Device Standard Setup] をクリックします。

⓫ [インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する] を選択し、[次へ] をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⓭ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⓮ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⓯ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注

- パスワードは、手順 ⓬ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓰ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓱ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

⓲ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注 • パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
• パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
• パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓳ ［TCP/IP］タブの「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力し、［設定］をクリックします。

注 「DNS サーバ」は SMTP プロトコルを使用するときのみ設定します。

⓴ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

2章

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源が ON で、Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［マイコンピュータ］を開きます。

❸ ［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ プリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

プリンタの IP アドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ 手順 ❾ でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順 ❾ で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

⓬ 共有するか確認の画面が表示されるので、［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［はい］をクリックします。

プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティと Network Extension がインストールされます。

⓮ コンピュータのハードディスクのフォーマット形式が NTFS の場合、アクセス権の変更画面が表示されるので、［はい］をクリックします。

⓯ OKI LPR ユーティリティのポート変更画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓲ へ進みます。

⓰ ［完了］をクリックします。

⑰［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタのIPアドレスを自動取得している場合は、OKI LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的にIPアドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

☞ ⑮からの続き

⑱［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⑲ 再起動後、アクセス権の変更画面が表示される場合は、［はい］をクリックします。

⑳ 再起動後、OKI LPR ユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、［OK］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ

プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPRユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、[自動的にIPアドレスを再設定する]にチェックを付け、[OK］をクリックします。

5　11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

2 章

Standard TCP/IP Port を使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ　コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows2000 Professional
プリンタ	: ML5300（PCL）
IPアドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 Windows2000 に IP アドレス等を設定します。

すでにWindowsにIPアドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（86 ページ）へ進みます。

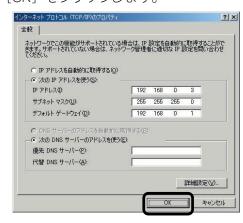
❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNSサーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

注 すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（89 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［マイコンピュータ］を開きます。

❹［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾［日本語］をクリックします。

❿［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⓭ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⓮ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⓯ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓰ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓱ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

2
章

⑱ [パスワード入力] に [イーサネットアドレスの下6桁] を入力し、[OK] をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑲ [TCP/IP] タブの「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力し、[設定] をクリックします。

注 「DNS サーバ」は SMTP プロトコルを使用するときのみ設定します。

⑳ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、[はい] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

❸ ［次へ］をクリックします。

❹ ［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

［プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックは外します。

❺ ［新しいポートの作成］を選択し、［種類］に［Standard TCP/IP Port］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［次へ］をクリックします。

❼ プリンタの IP アドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

例）プリンタの IP アドレスが、192.168.0.2 の場合、IP アドレスを入力すると、ポート名は、IP_192.168.0.2 が自動的に入力されます。通常はこのまま使用します。

❽ ［カスタム］を選択し、［設定］をクリックします。

❾ ［プロトコル］で［LPR］を選択し、［キュー名］に「lp」を入力し、［OK］をクリックします。

2章

❿ ［次へ］をクリックします。

⓫ ［完了］をクリックします。

⓬ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

⓭ ［ディスク使用］をクリックします。

⓮ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合 D:¥WIN2000¥PS¥JPN PCL プリンタドライバを使用する場合 D:¥WIN2000¥PCL¥JPN （CD-ROM ドライブが D:の場合）

⓯ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

⓰ プリンタ名を入力し、［次へ］をクリックします。

⓱ ［次へ］をクリックします。

⓲ ［次へ］をクリックします。

⓳［完了］をクリックします。

⓴［はい］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

2
章

5　11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

IPP（TCP/IP）を使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ　コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IPアドレス	: 192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する	: チェックしない
RARPを使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: Windows2000 Professional
プリンタ	: ML5300（PCL）
IPアドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1　プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2　Windows2000 に IP アドレス等を設定します。

すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（94 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

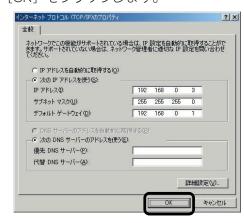
❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

❹ ［インターネットプロトコル（TCP/IP）］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❺ IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、DNS サーバを入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「IP アドレスを自動的に取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❻ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

2章

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（97 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［マイコンピュータ］を開きます。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⓭ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⓮ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⓯ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順 ⓬ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓰ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⓱ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

2章

⑱ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⑫で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑲ ［TCP/IP］タブの「サブネットマスク」、「デフォルトゲートウェイ」を入力し、［設定］をクリックします。

注 「DNSサーバ」はSMTPプロトコルを使用するときのみ設定します。

⑳ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NICセットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

❸ ［次へ］をクリックします。

❹ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［インターネットまたはイントラネット上のプリンタに接続します］を選択し、プリンタのURLを入力し、［次へ］をクリックします。

例 1）プリンタの IP アドレスが
「192.168.0.2」の場合
http://192.168.0.2/ipp/lp
例 2）プリンタの URL が
「ipp-printer1.okidata.co.jp」の場合
http://ipp-printer1.okidata.co.jp/ipp/lp

注 IP アドレスに1桁または2桁までの数値を含む場合、数値の前に「0」を入力しないでください。通信が正しく行われない場合があります。

（例）正しい入力値：
http://192.168.0.2/ipp/lp
誤った入力値：
http://192.168.000.002/ipp/lp

❻ ［OK］をクリックします。

❼ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［ディスク使用］をクリックします。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:¥WIN2000¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:¥WIN2000¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、［OK］をクリックします。

2
章

⓫［はい］をクリックします。

⓬［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5　11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

NetBEUI を使用します

以下の説明は、Windows2000 Professional を例にしています。

セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

1　プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

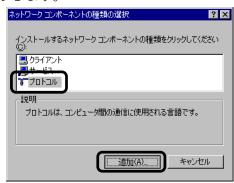
2　Windows2000 を設定します。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［ネットワークとダイアルアップ接続］を選択します。

❸ ［ローカルエリア接続］をダブルクリックし、［プロパティ］をクリックします。

［NetBEUI プロトコル］が表示されている場合は？

☞ 手順3「ネットワークプリンタを設定します」（100 ページ）へ進みます。

❹ ［インストール］をクリックします。

❺ ［プロトコル］を選択し、［追加］をクリックします。

❻ ［NetBEUI プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［ローカルエリア接続］を閉じます。

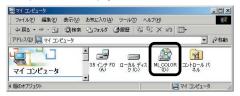
2章

3 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［マイコンピュータ］を開きます。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ ［Windows］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は ⓫ へ進みます。

⓫ [Microsoft Windows Network]-[Print Server]-[ML******](******はイーサネットアドレスの下6桁)-[PRN1]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [PrintServer] と [ML******] は、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示される [Work group name] と [Computer name] です。

⓬ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

⓭ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓮ [完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓰ へ進みます。

⓯ [終了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓮ からの続き

⓰ [完了] をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

4 11 章「印刷します」(251 ページ）へ進みます。

WindowsNT4.0 にセットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

2章

1 印刷する方法を決めます。

WindowsNT4.0 から印刷するためには、OKI LPR ユーティリティを使用する方法、LPR Port を使用する方法、NetBEUI を使用する方法の3種類があります。まず、どれを利用するか決めます。

印刷する方法	特　長
OKI LPR ユーティリティ	専用ユーティリティ（OKI LPR ユーティリティ）を使用します。 インストールするのは、プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティです。通常はこちらを使用します。
LPR Port	WindowsNT4.0 が標準で持っている機能を使用します。 インストールするのは、プリンタドライバのみです。
NetBEUI	WindowsNT4.0 が標準で持っている機能を使用します。 小規模なネットワークで使用する場合に利用します。他のユーザが印刷中はエラーメッセージが表示され、印刷できないことがあります。 インストールするのは、プリンタドライバのみです。

2 セットアップの流れ

OKI LPR ユーティリティ

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsNT4.0 に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバ、OKI LPR ユーティリティをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「OKI LPR ユーティリティを使用します」（103 ページ）へ進みます。

LPR Port

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsNT4.0 に IP アドレス等を設定します。

プリンタに IP アドレス等を設定します。

プリンタの追加から、プリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「LPR Port を使用します」（111 ページ）へ進みます。

NetBEUI

プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

WindowsNT4.0 に NetBEUI プロトコルをインストールします。

プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」からプリンタドライバをインストールし、ネットワークプリンタを設定します。

☞「NetBEUI を使用します」（118 ページ）へ進みます。

OKI LPR ユーティリティを使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCPサーバ、BOOTPサーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有のIPアドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されているIPアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

- IPアドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたりInternetに接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダに、プリンタに設定できるIPアドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ コンピュータ1台とプリンタ1台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか
サブネットマスク　：255.255.255.0
ゲートウェイ　：0.0.0.0（使用しません）
DNS　：使用しません

プリンタ

IPアドレス　：192.168.0.1～254のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク　：255.255.255.0
ゲートウェイ　：0.0.0.0
DHCP/BOOTPを使用する　：チェックしない
RARPを使用する　：チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決　：チェックしない
LAN　：SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows　：WindowsNT Server4.0
プリンタ　：ML5300（PCL）
IPアドレス　：192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク　：255.255.255.0
ゲートウェイアドレス　：192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsNT4.0 に IP アドレス等を設定します。

注 すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（105 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックし［プロトコル］タブを開きます。

［ネットワークプロトコル］に［TCP/IP プロトコル］が表示されている場合は?

☞ ❻ へ進みます。

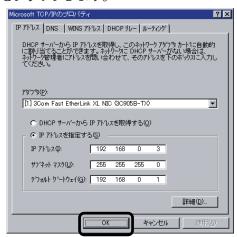
❹ ［追加］をクリックします。

❺ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

☞ ❸ からの続き

❻ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❼ IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバをそれぞれ入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCP サーバから IP アドレスを自動取得する場合は、「DHCP サーバーから IP アドレスを取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイや DNS サーバを使用しない場合は、入力しません。

❽ Windows を再起動します。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（108 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸［マイコンピュータ］を開きます。

❹［ML_COLOR］CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

❺［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾［日本語］をクリックします。

❿［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⑫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⑬ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⑭ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⑮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑯ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⑰ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

⓲ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⓬ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓳ ［TCP/IP］タブの各項目を設定し、［設定］をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。
③ 「IP アドレス」を入力します。
④ 「サブネットマスク」を入力します。
⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。
⑥ 「FTP/LPDバナーを使用する」のチェックを外します。

注
- 初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- 「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときのみ設定します。

⓴ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

2章

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源がONで、Windowsが起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ ［マイコンピュータ］を開きます。

❸ ［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［TCP/IPプロトコル］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ プリンタのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックします。

プリンタのIPアドレスがわからない場合は、［検索するサブネット］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑩ 手順 ❾ でプリンタの IP アドレスを入力した場合、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

手順 ❾ で［検索するサブネット］を選択した場合、検索されたプリンタリスト画面が表示されるので、プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⑪ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

⑫ 共有するか確認の画面が表示されるので、［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

プリンタドライバと OKI LPR ユーティリティと Network Extension がインストールされます。

⑬ コンピュータのハードディスクのフォーマット形式が NTFS の場合、アクセス権の変更画面が表示されるので、［はい］をクリックします。

⑭ OKI LPR ユーティリティのポート変更画面が表示されるので、［OK］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⑰ へ進みます。

⑮ ［完了］をクリックします。

⑯ ［終了］をクリックします。

2章

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

☞ ⑭からの続き

⑰ ［再起動する］にチェックを付け、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⑱ 再起動後、アクセス権の変更画面が表示される場合は、［はい］をクリックします。

⑲ 再起動後、OKI LPR ユーティリティのポート変更画面が表示される場合は、［OK］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示され、OKI LPRユーティリティにプリンタ名が追加されると、セットアップは終了です。

メモ　プリンタの IP アドレスを自動取得している場合は、OKI LPR ユーティリティ「オプション」メニューの［設定］を選択し、［自動的に IP アドレスを再設定する］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

5　11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

LPR Port を使用します

TCP/IPプロトコルを利用して、ネットワーク上でプリンタを使用する場合、コンピュータとプリンタに IP アドレスを設定する必要があります。ネットワーク上にDHCP サーバ、BOOTP サーバ、もしくはRARPサーバがない場合、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。また、社内ネットワーク管理者や、プロバイダやルータメーカより決められた固有の IP アドレスを設定するように指示された場合も、手動でコンピュータやプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。現在のプリンタに設定されている IP アドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されていますので、確認してください。ネットワークの設定情報（Network Information）については、「メニューマップ印刷をします」（27 ページ）をご覧ください。

- IP アドレスの設定を間違えると、ネットワークがダウンしたり Internet に接続できなくなることがあります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダに、プリンタに設定できる IP アドレス等を確認してください。
- ネットワーク上に存在するサーバは、ご使用のネットワーク環境によって異なります。社内のネットワーク管理者や、Internet 接続しているプロバイダやルータメーカーに確認してください。
- セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

メモ　コンピュータ 1 台とプリンタ 1 台を接続するような小規模ネットワークでは、次のように設定してください（「RFC1918」による）。

コンピュータ

IP アドレス	: 192.168.0.1 ～ 254 のいずれか
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0（使用しません）
DNS	: 使用しません

プリンタ

IP アドレス	: 192.168.0.1～254 のいずれか（コンピュータと異なるもの）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイ	: 0.0.0.0
DHCP/BOOTP を使用する	: チェックしない
RARP を使用する	: チェックしない
サーバを使用しないアドレス解決	: チェックしない
LAN	: SMALL

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

Windows	: WindowsNT Server4.0
プリンタ	: ML5300（PCL）
IP アドレス	: 192.168.0.3（コンピュータ）、192.168.0.2（プリンタ）
サブネットマスク	: 255.255.255.0
ゲートウェイアドレス	: 192.168.0.1

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsNT4.0 に IP アドレス等を設定します。

注 すでに Windows に IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順3「プリンタに IP アドレス等を設定します」（113 ページ）へ進みます。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックし［プロトコル］タブを開きます。

［ネットワークプロトコル］に［TCP/IPプロトコル］が表示されている場合は?

☞ ❻ へ進みます。

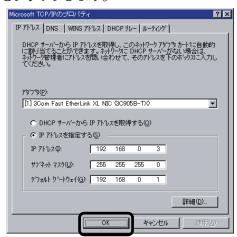
❹ ［追加］をクリックします。

❺ ［TCP/IPプロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

☞ ❸ からの続き

❻ ［TCP/IP プロトコル］を選択し、［プロパティ］をクリックします。

❼ IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバをそれぞれ入力し、［OK］をクリックします。

メモ
- DHCPサーバからIPアドレスを自動取得する場合は、「DHCPサーバーからIPアドレスを取得する」を選択し、IP アドレスは入力しません。
- デフォルトゲートウェイやDNSサーバを使用しない場合は、入力しません。

❽ Windows を再起動します。

3 プリンタに IP アドレス等を設定します。

すでにプリンタに IP アドレス等を設定したり、自動取得している場合は、手順 4「ネットワークプリンタを設定します」（116 ページ）へ進みます。
ここでは NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を利用して IP アドレスを設定する方法を説明します。
プリンタの操作パネルから設定する場合は、「プリンタの動作について」の「プリンタの操作パネルで IP アドレスを設定したい」（リファレンス編）をご覧ください。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［マイコンピュータ］を開きます。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ ［日本語］をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⑫ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

注
- イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。
- 初期設定では「DHCP/BOOTP protocol」が「ENABLE」（有効）になっています。ネットワーク上に DHCP/BOOTP サーバがある場合はサーバから取得した IP アドレスが表示されます。

⑬ ［設定］メニューの［IP アドレス設定］を選択します。

⑭ IP アドレスを入力し、［OK］をクリックします。

⑮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下 6 桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑯ 設定値を有効にするために［はい］をクリックします。

しばらくすると、一覧にプリンタが表示されます。表示されてこない場合は［ファイル］メニューの［検索］を選択してください。

⑰ 一覧より、プリンタを選択し、［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

⓲ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⓬ で選択した「Ethernet アドレス」の下 6 桁を入力してください。この場合は、「849C9B」となります。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓳ ［TCP/IP］タブの各項目を設定し、［設定］をクリックします。

① 「TCP/IP プロトコルを使用する」にチェックを付けます。
② 「DHCP/BOOTP を使用する」「RARP を使用する」のチェックを外します。
③ 「IP アドレス」を入力します。
④ 「サブネットマスク」を入力します。
⑤ 「デフォルトゲートウェイ」を入力します。
⑥ 「FTP/LPDバナーを使用する」のチェックを外します。

注
- 初期設定では「DHCP/BOOTP を使用する」にチェックが入っています。IP アドレスを設定すると自動的にチェックが外れます。
- 「DNS サーバ」は SMTP（E-Mail）プロトコルを使用するときのみ設定します。

⓴ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

㉑ 設定値を有効にするために、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

㉒ NIC セットアップユーティリティ（Admin Manager）を終了します。

4 ネットワークプリンタを設定します。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［プリンタの追加］をダブルクリックします。

プリンタの追加ウィザードが起動します。

❸ ［このコンピュータ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ ［LPR Port］を選択し、［新しいポート］をクリックします。

❺ ［プリンタの IP アドレス］と［プリンタキュー名］を入力し、［OK］をクリックします。

注 プリンタキュー名は、必ず［lp］と入力してください。［lp］以外では正常な印刷ができません。

❻ 追加したポートを選択し、［次へ］をクリックします。

❼ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［ディスク使用］をクリックします。

❾ ［製造元のファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS プリンタドライバを使用する場合
D:¥WINNT¥PS¥JPN
PCL プリンタドライバを使用する場合
D:¥WINNT¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタ名を入力し、［次へ］をクリックします。

⓬ ［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタのアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

5　11 章「印刷します」（251 ページ）へ進みます。

NetBEUI を使用します

以下の説明は、WindowsNTServer4.0 を例にしています。

 セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 プリンタとコンピュータの電源を ON にします。

2 WindowsNT4.0 を設定します。

❶ Windows を起動します。

❷ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❸ ［ネットワーク］をダブルクリックし、［プロトコル］タブを開きます。

［NetBEUI プロトコル］が表示されている場合は？

☞ 手順3「ネットワークプリンタを設定します」（119 ページ）へ進みます。

［NetBEUI プロトコル］を追加します。

❹ ［追加］をクリックします。

❺ ［NetBEUI プロトコル］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動します。

3 ネットワークプリンタを設定します。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［マイコンピュータ］を開きます。

❹ ［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❿ ［Windows］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は⓫へ進みます。

2章

⓫ [Microsoft Windows Network]-[PrintServer]-[ML******] (******はイーサネットアドレスの下6桁)-[PRN1]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [PrintServer] と [ML******] は、ネットワークの設定情報 (Network Information) に表示される [Work group name] と [Computer name] です。

⓬ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

⓭ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する]にチェックを付け、[次へ]をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓮ [完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓰へ進みます。

⓯ [終了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓮からの続き

⓰ [完了] をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

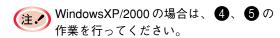
プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❹、❺ の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

注

OKI LPRユーティリティを使用してセットアップした場合、プリンタドライバと一緒にインストールされる OKI LPRユーティリティと Network Extension は、プリンタドライバの削除をしても削除されません。
OKI LPRユーティリティとNetwork Extension を削除したい場合は、「Windowsソフトウェア」の「OKI LPR ユーティリティ」、「Network Extension」（リファレンス編）をご覧ください。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❸ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。（WindowsMe/98/95 の場合、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

❼ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類（PS または PCL）のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windows を再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP にセットアップします」（35 ページ）、「WindowsMe/98/95 にセットアップします」（61 ページ）、「Windows2000 にセットアップします」（74 ページ）、「WindowsNT4.0 にセットアップします」（102 ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WindowsXP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

注

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95 の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

2 章

3 USB接続でWindowsにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- WindowsXP
  WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種
- WindowsMe/98
  WindowsMe/98 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種
- Windows2000
  Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で USB インタフェースを搭載している機種

- Windows95/3.1 からアップグレードインストールした WindowsMe/98 での動作は保証できません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows95/3.1/NT4.0/NT3.51 では動作しません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は 5 秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、プリンタフォルダに「OKI MICROLINE 5300（**）」「OKI MICROLINE 5300（**）（コピー 2）」「OKI MICROLINE 5300（**）（コピー 3）」（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USBハブを使用する場合は、コンピュータと直接接続されたUSBハブに接続してください。

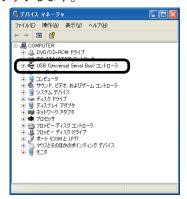
- USB インタフェースケーブルは USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。
- USB2.0の「Hi-Speed」モード（最大転送速度480Mbps）で使用するには、WindowsXP/2000 で、USB2.0 対応のインタフェースを搭載しているコンピュータを使用し、Microsoft 社が公開している USB2.0 ドライバがインストールされている必要があります。

メモ　お使いのコンピュータが USB に対応しているか確認できます。

〈WindowsXP〉

［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈Windows2000〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［ハードウェア］タブを開き、［デバイスマネージャ］をクリックします。

〈WindowsMe/98〉

［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］-［デバイスマネージャ］タブを開きます。

（WindowsMe の画面）

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

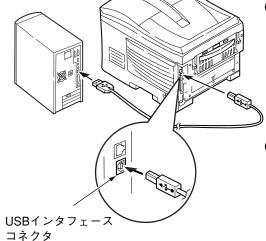
- プリンタのケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様のケーブルを別途用意してください。
- USB2.0 の「Hi-Speed」モードで接続する場合は、Hi-Speed 仕様の USB ケーブルを使用してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ
- プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USB ケーブルをプリンタの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

注
USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルをコンピュータの USB インタフェースコネクタに差し込みます。

メモ
USB 接続のセットアップ手順は、
WindowsXP の場合、「WindowsXP にセットアップします」（129 ページ）、
WindowsMe/98/2000 の場合、「WindowsMe/98/2000 にセットアップします」（134 ページ）
をご覧ください。

WindowsXP にセットアップします

- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- USBインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタとWindowsXPを起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

3章

プラグアンドプレイでセットアップします

1　コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

2　プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ 「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、[一覧または特定の場所からインストールする（詳細）] を選択し、[次へ] をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXPで「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（145 ページ）へ進みます。

❸ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹ [次の場所で最適のドライバを検索する] を選択し、[リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索] のチェックを外します。

❺ [次の場所を含める] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❻「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら?
☞ ❿ へ進みます。

❼ [完了] をクリックします。

❽ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❾「コントロールパネルを選んで実行します」の [プリンタと FAX] をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻ からの続き

❿「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

⓫ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合 D:¥WINXP¥PS¥JPN PCL ドライバを使用する場合 D:¥WINXP¥PCL¥JPN (CD-ROM ドライブが D:の場合)

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ [完了] をクリックします。

⓭ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

⓮「コントロールパネルを選んで実行します」の［プリンタとFAX］をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア]をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します]の[プリンタとFAX]をクリックします。

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール]をクリックします。

❹ 「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ]をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ]を選択し、[次へ]をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックは外してください。

❻ 「次のポートを使用」画面で[USBxxx](xxxはポートの番号)を選択し、[次へ]をクリックします。

❼ [ディスク使用]をクリックします。

❽ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元]に次のように入力し、[OK]をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
　(CD-ROM ドライブが D:の場合)

❿ プリンタ名を選択し、[次へ]をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで[はい]を選択し、[次へ]をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない]を選択し、[次へ]をクリックします。

⓬ ［テストページを印刷しますか？］で［いいえ］を選択し、［次へ］をクリックします。

⓭ ［完了］をクリックします。

⓮ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、［続行］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

［プリンタとFAX］フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

3章

WindowsMe/98/2000 にセットアップします

 Windows2000 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

注 プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、［キャンセル］をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

3章

2 セットアッププログラムを起動します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

❷［マイコンピュータ］を開きます。

❸［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックして開きます。

❹［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

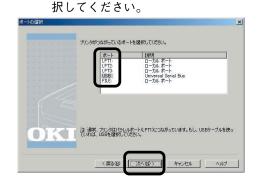
❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❷［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「2 ネットワーク接続で Windows にセットアップします」（31 ページ）をご覧ください。

❹ ポートで［USB］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 USBインタフェースで接続して2種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバとPCLプリンタドライバ）をお使いになりたい場合、2 つ目のプリンタドライバをインストールするときは、［FILE］を選択してインストールを行ってください。インストール完了後、プリンタフォルダでプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［詳細］タブの［印刷先のポート］で［USBxxx］（Windows2000 では［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］）を選択してください。

❺ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98 の場合は、ファイルのコピーが行われます。

WindowsMe/98 の場合
☞ 手順 4（136 ページ）へ進みます。

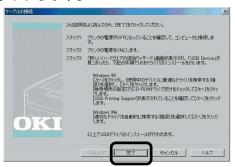
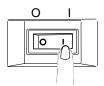
❻ Windows2000 で「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

ファイルのコピーが行われます。

☞ 手順 4（136 ページ）へ進みます。

3
章

4 USB ドライバをインストールします。

❶ 以下の画面が表示されたら、[完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら？
☞ ❸ に進みます。

❷ プリンタの電源を ON にします。

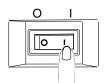
USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 137 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 138 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 140 ページに進みます。

☞ ❶ からの続き

❸ [再起動する] にチェックを付け、[完了] をクリックします。

Windows が再起動されます。

❹ Windows が完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

USB ドライバのインストール方法は、システムによって異なります。

Windows2000 の場合
☞ 137 ページに進みます。
WindowsMe の場合
☞ 138 ページに進みます。
Windows98 の場合
☞ 140 ページに進みます。

Windows2000の場合

❶ システム標準のUSBドライバが自動的にインストールされます。1〜2分かかることがあります。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

WindowsMe の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（146 ページ）をご覧ください。

3章

❶ ［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❷ ［完了］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❺ へ進みます。

❸ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

❹ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❷ からの続き

❺ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINME¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINME¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

ファイルのコピーが開始されます。

❻ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

Windows98 の場合

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。以下の手順に従って USB ドライバをインストールします。

新しいハードウェアの追加ウィザードが表示されない場合は「セットアップがうまくいかないとき」の「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（148 ページ）をご覧ください。

3章

❶ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❷ ［使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❸ ［CD-ROM ドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❹ このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❺ ［完了］をクリックします。

引き続きUSBケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

「ディスクの挿入」が表示されたら？
☞ ❽ へ進みます。

❻ 「MICROLINE カラーシリーズ」画面が表示されている場合は、［終了］をクリックします。

❼ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

☞ ❺ からの続き

❽ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、［OK］をクリックします。

❾ ［ファイルのコピー元］に次のように入力し、［OK］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合 　D:¥WIN98¥PS¥JPN PCL ドライバを使用する場合 　D:¥WIN98¥PCL¥JPN 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されない場合（WindowsMe/98/2000、USB インタフェース）

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ケーブルの接続」画面が表示されたら、USB ケーブルの接続を確認し、電源を ON にします。

「コンピュータの再起動」画面が表示された場合は、Windowsを再起動した後、USB ケーブルの接続を確認し、プリンタの電源を ON にします。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000 にセットアップします」（134 ページ）をご覧ください。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択します。

❸ ［詳細］タブの［印刷先のポート］（WindowsXP/2000 では、［ポート］タブの［印刷するポート］）で、接続先のポートを下記の設定にします。

USB ケーブルで接続する場合	［USBxxx］

- WindowsXP/2000 で、［印刷するポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源がONになっていることを確認してUSBケーブルを接続し直し、再度❶～❸を行ってください。
- WindowsMe/98 で［印刷先のポート］に［USBxxx］が表示されないときは、プリンタの電源が OFF になっていることを確認して USB ケーブルを接続し直し、再度セットアップを行ってください。詳細は、「WindowsMe/98/2000 にセットアップします」（134 ページ）をご覧ください。
- WindowsMe/98 でセットアップ中に「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合は、「WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（146 ページ）、「Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合」（148 ページ）をご覧ください。

PS または PCL のどちらか一方しかインストールできない場合（USB インタフェース）

USBインタフェースで接続する場合、同じプリンタに対して、2種類のプリンタドライバを同時にインストールすると、2つ目にインストールするプリンタドライバのアイコンが作成されません。
2つ目のプリンタドライバをインストールする場合は以下のようにしてください。

〈WindowsXP〉

❶ ［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］を選択します。

❷ ［プリンタのインストール］をクリックします。

❸ 画面の指示に従ってセットアップし、「次のポートを使用」画面で「FILE」にチェックを付けます。

❹ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsXP にセットアップします」の「プリンタのインストールでセットアップします」（132 ページ）をご覧ください。

❺ ［プリンタ］フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❻ ［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］にチェックを付けます。

〈WindowsMe/98/2000〉

❶ セットアッププログラムを起動します。

❷ 画面の指示に従ってセットアップし、「ポートの選択」画面で接続先のポートを「FILE」に設定します。

❸ 以降、画面の指示に従ってセットアップします。

詳細は、「WindowsMe/98/2000にセットアップします」（134ページ）をご覧ください。

❹ ［プリンタ］フォルダで2つ目のプリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［印刷先のポート］で［USBxxx］（Windows2000では［ポート］タブの［印刷するポート］で［USBxxx］）にチェックを付けます。

セットアップププログラムで「プリンタドライバのインストールに失敗しました」のエラーが表示される場合　（WindowsMe/98/2000）

❶ プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

❷ USB ケーブルを接続します。

❸ プリンタの電源を ON にします。

❹ Windows を起動します。

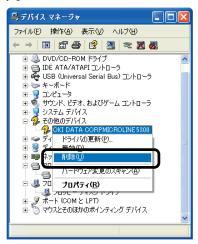
❺ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」（Windows2000 では「新しいハードウェアの検索ウィザード」）が表示されたら、以降、画面の指示に従ってセットアップします。

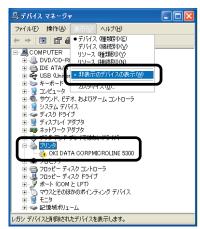
詳細は、「プリンタソフトウェア CD-ROM」内の「README.TXT」をご覧ください。

WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORPMICROLINE 5300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORPMICROLINE 5300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（129ページ）へ戻ります。

WindowsMe で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❻ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［適切なドライバを自動的に検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

> 引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

❼ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、［ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）］を選択し、「リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）」のチェックを外します。

❾ ［検索場所の指定］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

> PS ドライバを使用する場合
> 　D:¥WINME¥PS¥JPN
> PCL ドライバを使用する場合
> 　D:¥WINME¥PCL¥JPN
> 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

⑩ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

⑪ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで［はい］を選択し、［次へ］をクリックします。

⑫ ［印字テストを行いますか？］で［いいえ］を選択し、［完了］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⑬ ［完了］をクリックします。

⑭ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⑮ 「USB Printing Support プロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

⑯ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックし、［コントロールパネル］を閉じます。

⑰ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

3章

Windows98 で「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［設定］-［コントロールパネル］を選択します。

❷ ［システム］をダブルクリックします。

❸ ［デバイスマネージャ］タブの［その他のデバイス］で［USB Device］を選択し、プロパティをクリックします。

注 ［不明なデバイス］と表示されることがあります。

❹ ［ドライバの再インストール］をクリックします。

❺ 「デバイスドライバの更新ウィザード」画面が表示されたら、［次へ］をクリックします。

❻ ［現在使用しているドライバよりさらに適したドライバを検索する（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックします。

❼ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❽ ［CD-ROM ドライブ］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

❾ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、［次へ］をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

❿ ハードウェアデバイス用の更新されたドライバがインストールされたことを確認し、［完了］をクリックします。

⓫ 「USB Printing Support プロパティ」画面で［閉じる］をクリックします。

引き続き、USB ケーブルに接続しているプリンタを自動的に検出します。

⓬ 「新しいハードウェアの追加ウィザード」画面が表示されたら、[次へ] をクリックします。

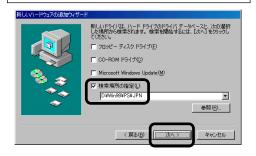
⓭ [使用中のデバイスに最適なプリンタドライバを検索する（推奨）] を選択します。

⓮ [検索場所の指定] にチェックを付け、次のように入力し、[次へ] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合 　D:¥WIN98¥PS¥JPN PCL ドライバを使用する場合 　D:¥WIN98¥PCL¥JPN 　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

⓯ 最適なドライバをインストールする準備ができたことを確認し、[次へ] をクリックします。

⓰ プリンタ名を確認し、通常のプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓱ [印字テストを行いますか？] で [いいえ] を選択し、[完了] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

⓲ [完了] をクリックします。

⓳ 「システムのプロパティ」画面で [OK] をクリックし、[コントロールパネル] を閉じます。

⓴ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[PostScript] - [詳細設定] - [データ形式] で [タグ付きバイナリ通信プロトコル] を選択して、[OK] をクリックします。[OK] をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❹、❺ の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

❷ [スタート] - [設定] - [プリンタ] を選択します。(WindowsXP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX] をクリックします。)

❸ [OKI MICROLINE 5300 (**)] (** は PS または PCL (プリンタドライバの種類)) アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] を選択します。

❹ [全般] タブの [テストページの印刷] をクリックします。(WindowsMe/98/95 の場合、[全般] タブの [印字テスト] をクリックします。)

❺ 確認画面が表示されたら、[OK] をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(26 ページ) をご覧ください。

❼ [OKI MICROLINE 5300 (**)] (** は PS または PCL (プリンタドライバの種類)) アイコンをマウスの右ボタンでクリックして [削除] を選択します。

注　ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類 (PS または PCL) のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❾～❿ の作業を行ってください。

❾ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタと FAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windows を再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXP にセットアップします」（129 ページ）、「WindowsMe/98/2000 にセットアップします」（134 ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WindowsXP では、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺ の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98
　［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
　［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98 の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

4 パラレル接続で Windows にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

- WindowsXP
  WindowsXP 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX（PC-9821 を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- WindowsMe/98/95
  WindowsMe/98/95 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- Windows2000
  Windows2000 日本語版の動作するコンピュータ
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

- WindowsNT4.0
  WindowsNT4.0 日本語版の動作するコンピュータ（PS プリンタドライバはサービスパック 5 以上）
  IBM PC/AT 互換機、PC98-NX、PC-9821 でパラレルインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MS-DOS および Windows のコマンドプロンプト /DOS プロンプトでは動作しません。
- Windows3.1/NT3.51 では動作しません。
- WindowsNT4.0 は、ARC 互換 RISC ベースのプロセッサ（MIPS® シリーズ、Alpha、PowerPC™ など）のシステムには対応していません。

メモ

- コンピュータのパラレルポートのBIOS設定を「ECP」モードにすると、データ転送速度が向上する場合があります。設定方法はコンピュータの製造元にお問い合わせください。
- パラレルケーブルはシールドされたものをお使いください。（最長 1.8m）

ケーブルを接続します

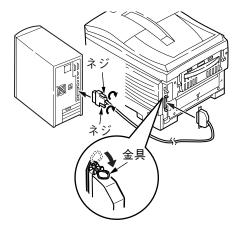
1 パラレルケーブルを準備します。

注 プリンタケーブルは添付されていません。IEEEstd1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルを別途用意してください。

2 プリンタとコンピュータの電源を OFF にします。

メモ プリンタの電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3 コンピュータとプリンタを接続します。

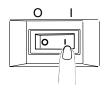
❶ パラレルケーブルをプリンタのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、金具で固定します。

❷ パラレルケーブルをコンピュータのパラレルインタフェースコネクタに差し込み、ネジで固定します。

メモ パラレル接続のセットアップ手順は、
WindowsXP の場合、「WindowsXP にセットアップします」（156 ページ）、
WindowsMe/98/95/2000/NT4.0の場合、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（160 ページ）をご覧ください。

WindowsXP にセットアップします

- WindowsXP をお使いの方だけご覧ください。
- コンピュータの管理者の権限が必要です。
- パラレルインタフェースで接続する場合、プリンタのインストール、セットアッププログラムでセットアップすると、プリンタと WindowsXP を起動するたびに「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されます。WindowsXP で初めてセットアップする場合は、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- 2 種類のプリンタドライバ（PS プリンタドライバと PCL プリンタドライバ）をお使いになりたい場合は、初めにどちらかのプリンタドライバをプラグアンドプレイでセットアップし、次にもう一方のプリンタドライバをプリンタのインストールでセットアップしてください。（158 ページ）

以下の説明は WindowsXP Home Edition を例にしています。

プラグアンドプレイでセットアップします

1　コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

2　プリンタドライバをインストールします。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示されたら、［一覧または特定の場所からインストールする（詳細）］を選択し、［次へ］をクリックします。

画面が表示されなかったら？
☞「WindowsXPで「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合」（165 ページ）へ進みます。

❸「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❹［次の場所で最適のドライバを検索する］を選択し、［リムーバブルメディア（フロッピー、CD-ROM など）を検索］のチェックを外します。

❺［次の場所を含める］にチェックを付け、次のように入力し、［次へ］をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
　（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❻ 「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

「ディスクの挿入」画面が表示されたら?
☞ ❿ へ進みます。

❼ [完了] をクリックします。

❽ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❾ 「コントロールパネルを選んで実行します」の [プリンタと FAX] をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

☞ ❻ からの続き

❿ 「ディスクの挿入」画面が表示されたら、「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットし、[OK] をクリックします。

⓫ [コピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
D:¥WINXP¥PCL¥JPN
(CD-ROM ドライブが D:の場合)

ファイルのコピーが開始されます。

⓬ [完了] をクリックします。

⓭ [スタート] - [コントロールパネル] を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

⓮ 「コントロールパネルを選んで実行します」の [プリンタと FAX] をクリックします。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

セットアップは完了です。

プリンタのインストールでセットアップします

❶ コンピュータの電源をONにし、[スタート]-[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] をクリックします。

❷ [コントロールパネルを選んで実行します] の [プリンタとFAX] をクリックします。

❸ [プリンタのタスク]-[プリンタのインストール] をクリックします。

❹「プリンタの追加ウィザード」画面で、[次へ] をクリックします。

❺ [このコンピュータに接続されているローカルプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

注 [プラグアンドプレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする] のチェックは外してください。

❻「次のポートを使用」画面で [LPT1:(推奨プリンタポート)] を選択し、[次へ] をクリックします。

❼ [ディスク使用] をクリックします。

❽「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❾ [製造元のファイルのコピー元] に次のように入力し、[OK] をクリックします。

PS ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PS¥JPN
PCL ドライバを使用する場合
　D:¥WINXP¥PCL¥JPN
（CD-ROM ドライブが D:の場合）

❿ プリンタ名を選択し、[次へ] をクリックします。

⓫ プリンタ名を確認し、通常使うプリンタで [はい] を選択し、[次へ] をクリックします。

メモ 「プリンタ共有」画面が表示されたら、[このプリンタを共有しない] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓬ [テストページを印刷しますか？] で [いいえ] を選択し、[次へ] をクリックします。

⓭ [完了] をクリックします。

⓮「ハードウェアのインストール」画面が表示されたら、[続行] をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

[プリンタとFAX] フォルダにプリンタアイコンが表示されます。

セットアップは完了です。

WindowsMe/98/95/2000/NT4.0 にセットアップします

- Windows2000/NT4.0 ではコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows95で、バージョンが「4.00.950」または「4.00.950a」の場合、Internet Explorer4.0 以上がインストールされていないと、セットアッププログラムでのセットアップができません。Internet Explorer を 4.0 以上にアップデートしてから、セットアップを行ってください。(Windows95のバージョンは、[マイコンピュータ] を右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択し、[情報] タブで確認することができます。)

4 章

1 コンピュータの電源を ON にし、Windows を起動します。

プリンタの電源がONになっていると、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されます。その場合には、[キャンセル] をクリックし、プリンタの電源を OFF にしてから次に進んでください。

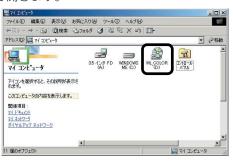
2 セットアッププログラムを起動します。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をコンピュータにセットします。

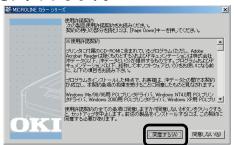
❷ [マイコンピュータ] を開きます。

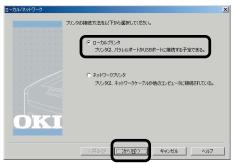
❸ [ML_COLOR] アイコンをダブルクリックして開きます。

❹ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

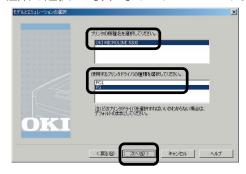
setup

セットアッププログラムが起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

❶「使用許諾契約」をよく読み、［同意する］をクリックします。

❷［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❸［ローカルプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

ネットワークで接続する場合は、「2　ネットワーク接続でWindowsにセットアップします」（31ページ）をご覧ください。

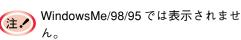
❹ ポートで［LPT1］を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98/95では、ファイルのコピーが行われます。

4章

❼ Windows2000/NT4.0の場合、「プリンタの共有」画面が表示されたら、［共有しない］を選択し、［次へ］をクリックします。

WindowsMe/98/95では表示されません。

WindowsNT4.0では、ファイルのコピーが行われます。

❽ Windows2000の場合、「デジタル署名が見つかりませんでした」画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

WindowsMe/98/95/NT4.0では表示されません。

ファイルのコピーが行われます。

❾ ［完了］をクリックします。

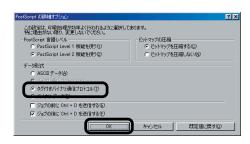
「コンピュータの再起動」画面が表示された場合

☞ ⓬に進みます。

❿ ［終了］をクリックします。

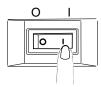
⓫ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

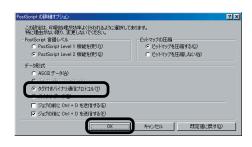
☞ ❾ からの続き

⓬ 「コンピュータの再起動」画面が表示されたら、［再起動する］を選択し、［完了］をクリックします。

Windows が再起動されます。

⓭ Windowsが完全に起動したら、プリンタの電源を ON にします。

⓮ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

プリンタアイコンが表示されていることを確認します。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合は、プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして［プロパティ］を選択し、［PostScript］-［詳細設定］-［データ形式］で［タグ付きバイナリ通信プロトコル］を選択して、［OK］をクリックします。［OK］をクリックしてプロパティを閉じます。

セットアップは完了です。

セットアップがうまくいかないとき

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが作成されているが、印刷できない場合

❶ [スタート] - [設定] - [プリンタ]（WindowsXP では、[スタート] - [コントロールパネル] - [プリンタとその他のハードウェア] - [プリンタとFAX]）を選択します。

❷ プリンタアイコンをマウスの右ボタンでクリックして [プロパティ] を選択します。

❸ [詳細] タブの [印刷先のポート]（WindowsXP/2000 では、[ポート] タブの [印刷するポート]）で、接続先のポートを下記の設定にします。

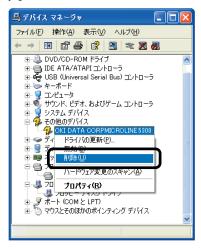
パラレルケーブルで接続する場合	[LPT1]

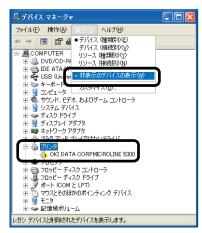
4
章

WindowsXP で「新しいハードウェアの検出ウィザード」が表示されない場合

❶ ［スタート］-［マイコンピュータ］をマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❷ ［ハードウェア］タブの［デバイスマネージャ］をクリックします。

❸ ［その他のデバイス］の「OKI DATA CORP MICROLINE 5300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

［その他のデバイス］が表示されなかったら？

［表示］メニューの［非表示のデバイスの表示］を選択し、［プリンタ］の「OKI DATA CORP MICROLINE 5300」をマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

❹ 「デバイスの削除の確認」画面で［OK］をクリックし、「デバイスマネージャ」を閉じます。

❺ 「システムのプロパティ」画面で［OK］をクリックします。

❻ Windows を再起動し、「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面から再セットアップします。

☞「WindowsXP にセットアップします」の「プラグアンドプレイでセットアップします」（156ページ）へ戻ります。

4章

プリンタドライバを削除するには

- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。(WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。)

❷ ［OKI MICROLINE 5300（**)］（** はPS またはPCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［削除］を選択します。

❸ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000 の場合は、❹、❺の作業を行ってください。

❹ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXP では「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❺ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

・WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
・Windows が起動されている場合は再起動してください。

❶ コンピュータとプリンタを接続し、プリンタの電源を ON にします。

❷ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では、［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❸ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❹ ［全般］タブの［テストページの印刷］をクリックします。（WindowsMe/98/95 の場合、［全般］タブの［印字テスト］をクリックします。）

❺ 確認画面が表示されたら、［OK］をクリックします。

テストページが印刷されます。

❻ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

❼ ［OKI MICROLINE 5300（**）］（** は PS または PCL（プリンタドライバの種類））アイコンをマウスの右ボタンでクリックして［削除］を選択します。

注　ドライバのアップデートを確実に行うために、アップデートするプリンタドライバと同じ種類（PS または PCL）のすべてのプリンタドライバを削除してください。

❽ 以降、画面の指示に従います。

WindowsXP/2000の場合は、❾～❿の作業を行ってください。

❾ 「プリンタ」フォルダ（WindowsXPでは「プリンタとFAX」フォルダ）の［ファイル］-［サーバーのプロパティ］を選択します。

❿ ［ドライバ］タブで、該当する機種名を選択し、［削除］をクリックします。

⓫ Windowsを再起動します。

⓬ 新しいプリンタドライバをセットアップします。
詳しくは「WindowsXPにセットアップします」（156ページ）、「WindowsMe/98/95/2000/NT4.0にセットアップします」（160ページ）をご覧ください。

- 必ずプリンタの電源がOFFになっていることを確認してください。
- WindowsXPでは、プリンタのインストールでセットアップします。

⓭ ❶～❺の手順でテストページを印刷し、新しいプリンタドライバのバージョンを確認します。

WindowsMe/98/95
［ドライバで使用されるファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsXP/2000
［このドライバが使う追加ファイル］以下に記載されているバージョン

WindowsNT4.0
［このドライバが使うファイル］以下に記載されているバージョン

 テストページ上に記載される［ドライバのバージョン］（WindowsMe/98/95の場合、［ドライバ　バージョン］）には固定のバージョン番号が記載されます。この内容はプリンタドライバをアップデートしても更新されません。

4
章

5 ネットワーク接続で Macintosh にセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS8.1、8.5、8.5.1、8.6、9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2、Mac OS X Classic 環境 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- MacOS8.0 以前のシステムには対応していません。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合もあります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。

ケーブルを接続します

1 イーサネットケーブルとハブを準備します。

注 プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

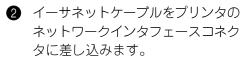
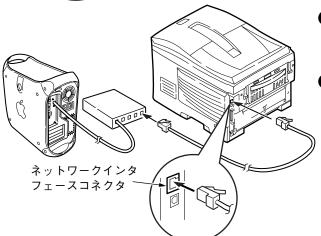
2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3 プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

メモ 誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

ネットワーク接続のセットアップについて

1 EtherTalk プロトコルを利用します。

2 セットアップの流れ

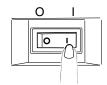
Macintosh に EtherTalk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

EtherTalk プロトコルを利用します

以下の説明は、MacOS9.0 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷ [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [AppleTalk] を選択します。

❸ [Ethernet] を選択し、[AppleTalk] を閉じます。

❹「設定の保存」画面が表示されたら、[保存] をクリックします。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ] を選択します。
  ② [セット] を [Mac OS x.x.x 基本]（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ] の [セット] を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット] を選択してください。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で [続ける] をクリックします。

❺ 「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❻ 「お読みください」をよく読み、[続ける] をクリックします。

❼ [インストール] をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ [終了] をクリックします。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［アップルメニュー］の［セレクタ］を選択します。

❷ ［LaserWriter8］をクリックし、［PostScript プリンタの選択］で［MICROLINE 5300］を選択します。

メモ　プリンタ名は、MicrolinePS Utility で変えることができます。

注　［セレクタ］に［LaserWriter8］が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」（178 ページ）をご覧ください。

❸ ［作成］をクリックします。

プリンタ名の横にアイコンが表示されます。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

5 プリントプラグインを設定します。

❶ ［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷ ［プリンタ：］が［MICROLINE 5300］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸ ［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹ ［設定の保存］をクリックします。

❺ 確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻ ［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- Mac OS X では常に TrueType スクリーンフォントで印刷されます。
- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されておりません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

5章

LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします

MacOS9.x.x 付属の LaserWriter8 プリンタドライバをカスタムインストールします。

［セレクタ］に［LaserWriter8］がすでに存在している場合は、インストール不要です。

以下の説明は、MacOS9.2.1 を例にしています。

❶「MacOS9.x.x システム CD-ROM」をセットします。

❷［MacOS インストーラ］をダブルクリックします。

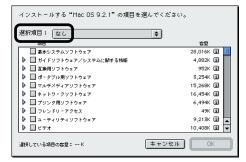
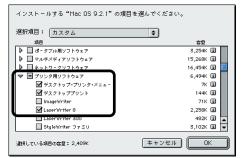
Mac OS インストーラ

❸「ようこそ MacOS9.x.x へ」画面で［続ける］をクリックします。

❹［インストール先ディスク］を選択し、［選択］をクリックします。

❺［追加 / 削除］をクリックします。

❻［ソフトウェア］で［MacOS9.x.x］にチェックをつけ、［インストール方法］で［カスタムインストール］を選択します。

❼［選択項目］で［なし］を選択します。

❽［プリンタ用ソフトウェア］の［▷］印をクリックし、［デスクトップ・プリンタ・メニュー］、［デスクトッププリント］、［LaserWriter8］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❾［開始］をクリックします。

❿［続ける］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

⓫［再起動］をクリックします。

プリンタドライバを削除するには

1　インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

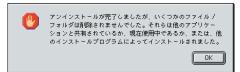
❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2　下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8 を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8 設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（179 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」（172 ページ）をご覧ください。

6 USB接続でMacintoshにセットアップします

動作環境

プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

MacOS9.0、9.0.4、9.1、9.2、9.2.1、9.2.2 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- USB 拡張ボードには対応していません。
- 日本語以外の OS には対応していません。
- 印刷中に USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USBケーブルを短時間で抜き差ししないでください。抜き差しする間隔は5秒間以上あけてください。
- 他の全ての USB 機器との同時接続を保証するものではありません。
- 同一機種のプリンタを複数台接続すると、デスクトップ・プリンタ Utility に「MICROLINE 5300」、「MICROLINE 5300 1」、「MICROLINE 5300 2」と表示されます。この番号はプリンタを接続する順序や電源を ON する順序によって変わります。
- USB ハブをご使用になる場合は、コンピュータと直接接続された USB ハブに接続してください。
- プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタのメモリ使用サイズの設定が小さい場合、書類によってはバックグラウンドプリントができない場合があります。このような場合は、プリントモニタまたはデスクトップ・プリントモニタの使用サイズを大きくしてください。
- MacOS 日本語版のマルチユーザ機能には対応していません。
- Mac OS X Classic 環境には対応していません。

メモ　USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

- 電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。
- USB ケーブルはコンピュータ、プリンタの電源が ON の状態でも抜き差しできますが、この後のプリンタドライバ、USB ドライバのインストールを確実に行うために、ここではプリンタの電源を OFF にしておきます。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン	. AUTO トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を起動します。

3 プリンタドライバをインストールします。

- ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。
- システムにインストールされている機能拡張ファイルの種類によっては、Macintosh がハングアップするなど正常にインストールできないことがあります。この場合は、次の設定を行った後に、プリンタドライバをインストールしてください。
  ① [アップルメニュー] - [コントロールパネル] - [機能拡張マネージャ] を選択します。
  ② [セット] を [Mac OS x.x.x 基本]（x.x.x は Mac OS のバージョン）設定にします。
  ③ Macintosh を再起動します。
  ④ 下記手順に従い、プリンタドライバをインストールします。
  ⑤ プリンタドライバのインストール後、[機能拡張マネージャ] の [セット] を元の設定に戻して、Macintosh を再起動します。機能拡張マネージャの元の設定が分からない場合は、[省略時セット] を選択してください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [Driver] フォルダを開きます。

❸ [Installer for MacOS] をダブルクリックします。

Installer for MacOS

❹ 起動画面で [続ける] をクリックします。

❺「使用許諾契約」をよく読み、[同意] をクリックします。

❻ 「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❼ ［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❽ ［終了］をクリックします。

4 デスクトップ・プリンタを作成します。

❶ ［Appleエクストラ］-［Apple LaserWriter ソフトウェア］フォルダ（Mac OS 9.1以降では、［Applications(MacOS9)］-［ユーティリティ］フォルダ）内の［デスクトップ・プリンタUtility］をダブルクリックします。

デスクトップ・プリンタ Utility

❷ ［プリンタ］で［LaserWriter8］を、［デスクトップに作成］で［プリンタ（USB）］を選択し、［OK］をクリックします。

注 ［プリンタ］に［LaserWriter8］が表示されない場合は、Mac OS のシステム CD-ROM から LaserWriter8 プリンタドライバをインストールしてください。インストール方法は、「LaserWriter8 プリンタドライバをインストールします」（178 ページ）をご覧ください。

❸ [USBプリンタの選択]の[変更]をクリックします。

❹ [USB プリンタの選択] で [MICROLINE 5300] を選択し、[OK] をクリックします。

❺ [PostScriptプリンタ記述（PPD）ファイル] で [自動設定] を選択します。

❻ [作成] をクリックします。

❼ [デスクトップ・プリンタの保存名] を入力し、[保存] をクリックします。

❽ デスクトップ・プリンタUtilityを終了します。

MICROLINE 5300

デスクトップ上にデスクトップ・プリンタ・アイコンが表示されます。

メモ　USBインタフェースで接続する場合は、「セレクタ」画面で「LaserWriter8」を選択しても、画面の右側にプリンタ名は表示されません。プリンタを選択するときはデスクトップ上に作成されたプリンタアイコンを選択して、「Finder」の[プリンタ] メニューで [省略時プリンタに指定] を選択して使用します。

6章

5 プリントプラグインを設定します。

❶［ファイル］メニューの［デスクトップのプリント ...］を選択します。

❷［プリンタ：］が［MICROLINE 5300］であることを確認し、ポップアップメニュー［一般設定］をクリックし、［プラグイン初期設定］を選択します。

❸［プリントタイム・フィルタ］の左に表示されている［▷］印をクリックして［プリントタイム・フィルタ］を開き、［プリントタイム・フィルタ］と［ジョブタイプ］にチェックを付けます。

❹［設定の保存］をクリックします。

❺確認メッセージが表示されたら、［OK］をクリックします。

❻［キャンセル］をクリックし、［印刷ダイアログ］を閉じます。

6
章

6 欧文スクリーンフォントをインストールします。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷［Fonts］フォルダを開きます。

❸ 使用したいフォントを［システムフォルダ］-［フォント］フォルダにコピーします。

❹ Macintosh を再起動します。

- Mac OS X では常に TrueType スクリーンフォントで印刷されます。
- ［Chicago］、［Geneva］、［Monaco］、［NewYork］は添付されておりません。MacOS 添付のフォントをご使用ください。
- Macintoshのシステムに負荷がかかりますので、使用する欧文スクリーンフォントのみをインストールしてください。
- すでにシステムに同名のスクリーンフォントがインストールされている場合は、新たにインストールしなおす必要はありません。
- 和文スクリーンフォントはMacOS添付の平成明朝、平成角ゴシックをご使用ください。フォントの置き換え機能により、文書のレイアウトはそのままにプリンタフォントに置き換えて高速に印刷されます。

プリンタドライバを削除するには

1 インストーラでアンインストールします。

❶「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

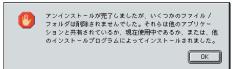
❷［Driver］フォルダを開きます。

❸［Installer for MacOS］をダブルクリックします。

❹「起動」画面で［続ける］をクリックします。

❺「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❻「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❼ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❽［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバのアンインストールが開始されます。

❾［OK］をクリックします。

❿［終了］をクリックします。

2 下記のファイルをゴミ箱にドラッグし、空にします。

- LaserWriter8 を使用している全てのデスクトッププリンタアイコン
- ［システムフォルダ］-［初期設定］-［プリント初期設定］フォルダ内の「LaserWriter8 設定」ファイル

プリンタドライバをアップデートするには

❶ プリンタドライバを削除します。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（189 ページ）をご覧ください。

❷ 新しいプリンタドライバをインストールします。詳しくは「セットアップします」（184 ページ）をご覧ください。

7 ネットワーク接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

Mac OS X10.0 ～ 10.2.4 日本語版が動作する Macintosh で EtherTalk 対応のネットワークインタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.2.2 では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では、［用紙厚］や［解像度］設定などの、プリンタの固有機能を使用することができません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.0.4 では、プリンタ名に日本語を使用するとコンピュータとプリンタ間で接続することができません。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。

ケーブルを接続します

1　イーサネットケーブルとハブを準備します。

注　プリンタにイーサネットケーブルとハブは添付されていません。イーサネットケーブル（カテゴリ 5、ツイストペアケーブル、ストレート）とハブを別途用意してください。

〈イーサネットケーブル〉

〈ハブ〉

2　プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3　プリンタをネットワークに接続します。

❶ プリンタのネットワークインタフェースコネクタに挿入されている誤挿入防止カバーを外します。

誤挿入防止カバーは捨てずに保管し、ネットワーク接続しない場合に挿入してください。

❷ イーサネットケーブルをプリンタのネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

❸ イーサネットケーブルをハブに差し込みます。

セットアップします

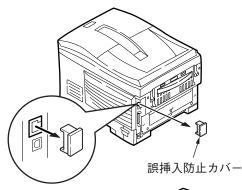
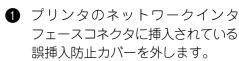
ネットワーク接続のセットアップについて

1 EtherTalk プロトコルを利用します。

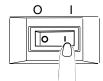
2 セットアップの流れ

Macintosh に EtherTalk を設定します。

プリンタドライバをインストールします。

ネットワークプリンタを作成します。

EtherTalk プロトコルを利用します

以下の説明は、Mac OS X 10.1.4 を例にしています。

1 プリンタの電源を ON にします。

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 Macintosh を設定します。

❶ Macintosh を起動します。

❷ ［システム環境設定］-［ネットワーク］を選択します。

❸ ［表示］-［動作中のネットワークポート］を選択し、［内蔵Ethernet］にチェックがついていることを確認します。

❹ ［表示］-［内蔵 Ethernet］-［AppleTalk］タブを選択し、［AppleTalk使用］にチェックがついていることを確認します。

7章

3 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❼「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❽［インストール］をクリックします。

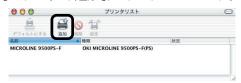
プリンタドライバのインストールが開始されます。

❾［終了］をクリックします。

4 プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

プリントセンター

❷ ［追加］（Mac OS X 10.1.5 以前の場合は［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ 新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

❸ ［AppleTalk］を選択します。

❹ プリンタ名を選択し、［追加］をクリックします。

❺ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。

5 設定を確認します。

❶ TextEdit などのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5 以前では［フォーマット］）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

7章

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

2 インストーラでアンインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷ ［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］フォルダを開きます。

❹ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼ 「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ⬍をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫ ［終了］をクリックします。

7章

プリンタドライバをアップデートするには

❶ ［プリントセンター］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（199 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」（194 ページ）をご覧ください。

7
章

8 USB 接続で Mac OS X にセットアップします

動作環境

Mac OS X、プリンタドライバのバージョンアップにより、本書の記載と異なる場合があります。

Mac OS X10.1.2 ～ 10.2.4 日本語版が動作する Macintosh で USB インタフェースを搭載している機種

- 日本語以外の OS には対応していません。
- ハーフトーン調整機能は使用できません。
- Mac OS X 10.1.2 ～ 10.2.2 では、カスタム用紙はサポートされません。
- OCF や CID ビットマップフォントは使用することができません。
- Mac OS X のアプリケーションで表示される、細明朝体（SaiMincho）、中ゴシック（ChuGothic）はビットマップで印刷されます。
- 文字の黒色がコンポジット（CMYK 混合色）で印刷される場合があります。
- MicrolinePS Utility は Mac OS X では動作しません。
- Mac OS X 10.0 ～ 10.1.1 では、USB インタフェースでの接続はできません。
- Classic 環境が動作しているときは、Mac OS X からの印刷ができません。Classic 環境を終了させてから印刷してください。
- ブラックオーバープリント、トナーセーブ、CMYK シミュレーションはアプリケーションによっては使用できないことがあります。

メモ　USB インタフェースケーブルは、USB2.0 仕様で長さ 2m 以内のものをお使いください。

8
章

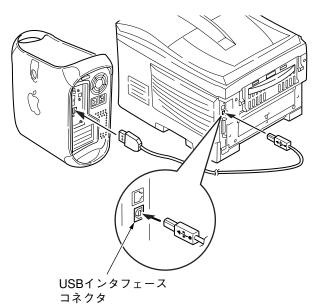
ケーブルを接続します

1 USB ケーブルを準備します。

注 USB ケーブルは添付されていません。USB2.0 仕様の USB ケーブルを別途用意してください。

2 プリンタと Macintosh の電源を OFF にします。

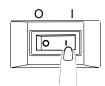
メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3 USB ケーブルを接続します。

❶ USBケーブルをプリンタのUSBインタフェースコネクタに差し込みます。

注 USB ケーブルをネットワークインタフェースコネクタに差し込まないよう注意してください。
故障の原因となります。

❷ USB ケーブルを Macintosh の USB インタフェースコネクタに差し込みます。

セットアップします

1 プリンタの電源を ON にします。

オンライン . AUTO
トレイ 1

完全に起動すると操作パネルに「オンライン」と表示されます。

2 プリンタの操作パネルで［USB PS プロトコル］を［ASCII］にします。

注

- Mac OS X で使用する場合は、必ず設定してください。設定しないと正常に印刷できないことがあります。
- MacOS 9 で使用する場合は、設定を［RAW］に戻してください。

❶ ＋「メニュー＋」スイッチまたは ー「メニューー」スイッチを数回押し、［システム　コウセイ　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ ＋「メニュー＋」スイッチまたは ー「メニューー」スイッチを数回押し、［USB　PS プロトコル］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ ＋「メニュー＋」スイッチまたは ー「メニューー」スイッチを押し、［ASCII］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

❽ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

3 Macintosh を起動します。

8 章

4 プリンタドライバをインストールします。

注 ウィルス防御ソフトウェアは OFF にしてください。

メモ プリンタドライバは Mac OS X 付属の PostScript プリンタドライバを使用します。

❶「プリンタソフトウェア CD-ROM」を Macintosh にセットします。

❷［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❸［Driver］フォルダ内の［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

Installer for MacOSX

❹ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❺ 起動画面で［続ける］をクリックします。

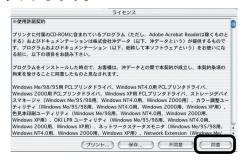
❻「使用許諾契約」をよく読み、［同意］をクリックします。

❼「お読みください」をよく読み、［続ける］をクリックします。

❽［インストール］をクリックします。

プリンタドライバのインストールが開始されます。

❾［終了］をクリックします。

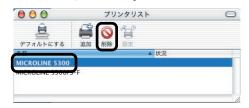
8章

5 プリントセンターで設定をします。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

プリントセンター

❷ ［追加］（Mac OS X 10.1.5以前の場合は［プリンタを追加］）をクリックします。

メモ　新規にプリンタを追加する場合、「使用可能なプリンタがありません」画面で、［追加］をクリックします。

注　インストールしようとしているプリンタの名前がすでに表示されている場合は、プリンタ名を選択して［削除］をクリックします。

❸ ［USB］を選択します。

❹ ［種類］に［PostScript printer］と表示されているプリンタ名を選択し（Mac OS X 10.2以降の場合、［プリンタの機種］で［Oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❺ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。

8章

6 設定を確認します。

❶ TextEdit などのアプリケーションを起動します。

❷ ［ファイル］-［ページ設定］を開きます。

❸ ［対象プリンタ］（Mac OS X 10.1.5 以前では［フォーマット］）で追加したプリンタ名を選択します。

❹ ［対象プリンタ］メニューの下の行にプリンタ名が正しく表示されていることを確認します。

プリンタドライバが PPD ファイルを正しく読み込まないとプリンタ名が正しく表示されません。この場合は、［プリントセンター］でプリンタを一旦削除し、再度プリンタを追加してください。

8章

プリンタドライバを削除するには

1 プリンタリストからプリンタ名を削除します。

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ プリンタ名を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタリスト］を閉じます。

2 インストーラでアンインストールします。

❶ 「プリンタソフトウェアCD-ROM」をMacintoshにセットします。

❷ ［ML_COLOR］アイコンをダブルクリックします。

❸ ［Driver］フォルダを開きます。

❹ ［Installer for Mac OS X］をダブルクリックします。

❺ 管理者の名前とパスワードを入力し、［OK］をクリックします。

❻ 起動画面で［続ける］をクリックします。

❼ 「使用許諾契約」画面で、［同意］をクリックします。

❽ 「お読みください」画面で、［続ける］をクリックします。

❾ ◆をクリックし、［アンインストール］を選択します。

❿ ［アンインストール］をクリックします。

プリンタドライバの削除が行われます。

⓫ ［終了］をクリックします。

プリンタドライバをアップデートするには

❶ ［プリントセンター］-［プリンタリスト］のプリンタ名を削除し、インストーラでプリンタソフトウェアをアンインストールします。詳しくは「プリンタドライバを削除するには」（208 ページ）をご覧ください。

❷ プリンタソフトウェアを再インストールします。詳しくは「セットアップします」（204 ページ）をご覧ください。

9 UNIXにセットアップします

LPD プロトコルを利用します

TCP/IP の LPD プロトコル（lpr, lp コマンド）を使用して印刷する方法を説明します。lpr, lp コマンドの詳細は UNIX のマニュアルをご覧ください。

LPD について

LPD（Line Printer Daemon）はネットワーク上のプリンタに印刷するためのプロトコルです。

論理プリンタについて

本プリンタには３つの論理プリンタがあります。

論理プリンタ	機　能
lp	プリンタドライバを使用したファイルを印刷する場合
sjis	シフト JIS 漢字コードのファイルを印刷する場合
euc	euc 漢字コードのファイルを印刷する場合

sjis, euc はポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　: ML5300
IP アドレス　　　　 : 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNET を使用します。

❶ UNIX にルートでログインします。

❷ arp コマンドでプリンタに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNET でプリンタにログインします。

「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下 6 桁」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET
server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message          Value    (level.1)
---------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup EtherTalk
  5 : Setup NetBEUI
  6 : Setup printer trap
  7 : Setup SMTP(E-Mail)
  9 : Maintenance
 10 : Setup printer port
 11 : Display status
 12 : IP Filtering Setup
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enter キー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message          Value    (level.2)
--------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol       : ENABLE
  2 : IP Address            : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask           : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway       : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol         : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol   : DISABLE
  7 : Auto IP Address       : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)      : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)      : 0.0.0.0
 10 : root Password         : "*******"
 11 : Network PnP Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ ログアウトします。

❼ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

プリンタの電源を OFF/ON するまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源を OFF/ON してください。

電源の切り方は「電源を切ります」(26 ページ）をご覧ください。

9 章

UNIX を設定し印刷します

Sun OS4.X.Xの場合

・ スーパーバイザーの権限が必要です。
・ SunOS4.1.3 を例にしています。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ /etc/printcapファイルにプリンタを登録します。

```
ML_lp:¥
 :lp=:rm=ML:rp=lp:¥
 :sd=/usr/spool/ML_lp:¥
 :lf=/usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs:
```

〈各変数の意味〉
lp ：プリンタを接続するデバイスファイル名。指定する必要はありません。
rm：リモートプリンタのホスト名。手順❷で登録したホスト名を入力します。
rp ：リモートプリンタのプリンタ名。プリンタの論理プリンタ名で通常はlpを選択します。
sd：スプールディレクトリ。絶対パスで指定します。
lf ：エラーログファイル。絶対パスで指定します。

❺ 手順❹で登録したスプールディレクトリとエラーログファイルを作成します。

```
# mkdir /usr/spool/ML_lp
# touch /usr/spool/ML_lp/ML_lp_errs
# chown -R daemon /usr/spool/ML_lp
# chgrp -R daemon /usr/spool/ ML_lp
```

❻ lpd（プリンタデーモン）が起動しているかどうかを調べます。

```
# PS aux | grep lpd
```

lpdが動作していない場合、スーパーユーザーのアカウントで下記のコマンドを実行してください。

```
# /usr/lib/lpd&
```

❼ 作成したプリントキューを有効にします。

```
# lpc restart ML_lp
```

❽ 印刷します。

```
# lpr -PML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# lprm -PML_lp 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

ショートフォーマットの場合

```
# lpq -PML_lp
```

ロングフォーマットの場合

```
#lpq -l -PML_lp
```

・lpqのショートフォーマットはUNIX互換フォーマットですが、ロングフォーマットはプリンタの状態を表示する本プリンタ独自のフォーマットです。
・UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

9
章

Sun Solaris2.6および8の場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- OpenWindows上よりAdmintoolを使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# lpadmin -p ML_lp -m netstandard -o
protocol=bsd -o dest=ML:lp -v /dev/
null
```

「：」に続く「lp」が論理プリンタになります。

❺ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❻ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

バナーページが不要な場合は以下のコマンドを使用します。

```
# lp -d ML_lp -o nobanner
```

❼ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❽ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

Sun Solaris2.3X～2.5Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- Sun Solaris2.4 を例にしています。
- OpenWindows上より Admintool を使ってリモートプリンタを登録する方法は、出力先とキューの名称が同一になるため本プリンタでは利用できません。リモートプリンタの登録は以下の方法で行ってください。
- Solaris 2.xはシステムの仕様上、リモートプリンタとの接続が長時間滞った場合にエラーとみなし、強制切断するようになっています。従って、印刷中に用紙切れやオフラインなどのエラーによって待ち時間が発生した場合には印刷が打ち切られてしまいます。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントスケジューラを停止します。

```
# /usr/sbin/lpshut
```

❺ プリントサーバを登録します。

```
# /usr/sbin/lpsystem -R0 -t bsd ML
```

❻ プリントキューを設定します。

```
# /usr/sbin/lpadmin -p ML_lp -s ML!lp
```

- cshをご使用の場合は、「!」の代わりに「¥!」または「/!」としてください。
- 「!」に続く「lp」が論理プリンタになります。
- lpadmin の使い方はお使いの Sun OS のマニュアルをご覧ください。

❼ プリントスケジューラを起動します。

```
#/usr/bin/sh /etc/init.d/lp start
```

❽ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/sbin/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❾ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❿ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

⓫ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

HP-UX9.Xおよび10.Xの場合

- スーパーバイザーの権限が必要です。
- HP-UX9.03 を例にしています。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ 使用しているHP-UXマシンに、リモートスプーラが設定されていないときは以下の設定を行ってください。

① プリンタスプーラを停止します。

```
#/usr/lib/lpshut
```

② /etc/inetd.confファイルに以下の行を追加し、リモートスプーラを登録します。

```
printer stream tcp nowait root /
usr/lib/rlpdaemon -i
```

③ inetd を再起動します。

```
#/etc/inetd -c
```

❺ プリントキューを設定します。

```
#/usr/lib/lpadmin -pML_lp -mrmodel -
ormML -orplp -ocmrcmodel -osmrsmodel -
ob3 -v/dev/null
```

「-p」に続く「ML_lp」がプリントキュー名、「-orm」に続く「ML」がホスト名、「-orp」に続く「lp」が論理プリンタ名になります。

❻ プリントキューを有効にします。

```
#/usr/lib/accept ML_lp
#/usr/bin/enable ML_lp
```

❼ プリンタスプーラを起動します。

```
#/usr/lib/lpsched
```

❽ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❾ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp- 〈ジョブ番号〉
```

❿ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

注 UNIX の仕様により正常に表示できない場合があります。

AIX4.1.5および4.3.3の場合

注 スーパーバイザーの権限が必要です。

❶ UNIXに管理者(root)でログインします。

❷ /etc/hostsファイルにプリンタのIPアドレスとホスト名を登録します。

```
192.168.0.2 ML
```

❸ pingコマンドを使って、プリンタとの接続を確認します。

```
# ping ML
```

❹ プリントサーバを登録します。

```
# ruser -a -p ML
```

❺ リモートプリンタデーモンを起動します。

```
# startsrc -s lpd
# mkitab 'lpd:2:once:startsrc -s lpd'
```

❻ smitコマンドを利用してプリントキューの追加を行います。

① smitコマンドを起動し、「印刷待ち行列の追加」の項目へ移行します。

```
# smit mkrque
```

② 「接続タイプ」から「remote」(リモートホストに接続されたプリンタ)を選択します。

③ 「リモート印刷のタイプ」から「標準処理」を選択します。

④ 「標準リモート印刷待ち行列の追加」で以下の項目を設定します(下記以外の設定はご利用環境に応じて変更してください)。

追加する待ち行列　[ML_lp]
リモートサーバのホスト名[ML]
リモートサーバ上の待ち行列名　[lp]
リモートサーバ上の
　印刷スプーラのタイプ　[BSD]
リモートサーバ上のプリンタ名記述
　[任意のコメント]

「リモートサーバ上の待ち行列名」が論理プリンタになります。

❼ 印刷します。

```
# lp -d ML_lp 〈ファイル名〉
```

❽ 印刷要求を取り消します。

```
# cancel ML_lp-〈ジョブ番号〉
```

❾ プリンタの状態を確認します。

```
# lpstat -p ML_lp
```

UNIXの仕様により正常に表示できない場合があります。

9章

FTPプロトコルを利用します

TCP/IPのFTPプロトコル（ftpコマンド）を使用して印刷する方法を説明します。ftpコマンドの詳細はUNIXのマニュアルをご覧ください。

FTPについて

FTP（File Transfer Protocol）はネットワーク上のホストにファイルを転送するためのプロトコルです。

論理ディレクトリについて

本プリンタには3つの論理ディレクトリがあります。

論理ディレクトリ	機　能
/lp	プリンタドライバを使用したファイルを印刷する場合
/sjis	シフトJIS漢字コードのファイルを印刷する場合
/euc	euc漢字コードのファイルを印刷する場合

sjis, eucはポストスクリプトプリンタのみの機能です。

以下の説明は、下記の環境を例にしています。

プリンタ　　　　　　　: ML5300
IPアドレス　　　　　　: 192.168.0.2
イーサネットアドレス : 00:80:87:84:9C:9B

プリンタを設定します

TELNET を使用します。

❶ UNIXに管理者（root）でログインします。

❷ arp コマンドでプリンタに一時的な IP アドレスを設定します。

```
# arp -s 192.168.0.2
00:80:87:84:9C:9B temp
```

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

❸ ping コマンドで接続を確認します。

```
# ping 192.168.0.2
```

❹ TELNET でプリンタにログインします。

「login」名は「root」、「password」は「イーサネットアドレスの下6桁」（初期値）です。

```
telnet  192.168.0.2
Trying 192.168.0.2 ...
Connected to 192.168.0.2
Escape character is '^'.
EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09 TELNET
server.

login: root
'root' user needs password to login.
password:
User 'root' logged in.

 No.  Message          Value    (level.1)
---------------------------------------
  1 : Setup TCP/IP
  2 : Setup SNMP
  3 : Setup NetWare
  4 : Setup EtherTalk
  5 : Setup NetBEUI
  6 : Setup printer trap
  7 : Setup SMTP(E-Mail)
  9 : Maintenance
 10 : Setup printer port
 11 : Display status
 12 : IP Filtering Setup
 97 : Network Reset
 98 : Set default(Network)
 99 : Exit setup
Please select(1 - 99)?
```

❺「1」を入力し、「Enter キー」を押し、次のように設定します。

```
Please select(1-99)? _1

 No.  Message          Value     (level.2)
---------------------------------------
  1 : TCP/IP Protocol      : ENABLE
  2 : IP Address           : 192.168.0.2
  3 : Subnet Mask          : 255.255.255.0
  4 : Default Gateway      : 192.168.0.1
  5 : RARP Protocol        : DISABLE
  6 : DHCP/BOOTP Protocol  : DISABLE
  7 : Auto IP Address      : DISABLE
  8 : DNS Server(Pri.)     : 0.0.0.0
  9 : DNS Server(Sec.)     : 0.0.0.0
 10 : root Password        : "*******"
 11 : Network PnP Setup
 99 : Back to prior menu
Please select(1 - 99)?
```

❻ ログアウトします。

❼ 新しい設定を有効にするために、プリンタの電源を OFF/ON します。

注

プリンタの電源を OFF/ON するまでは、プリンタは送信前の設定値で動作しています。必ずプリンタの電源を OFF/ON してください。

メモ

電源の切り方は「電源を切ります」(26 ページ）をご覧ください。

9章

印刷します

❶ プリンタにログインします。

「Name」と「Password」にどのような値を入力しても印刷可能です。ただし、「Name」が「root」の場合は「Password」が必要となります。初期値は「イーサネットアドレスの下6桁」です。

```
#ftp ML  (または、ftp 192.168.0.2)
Connected to ML
220 EthernetBoard MLETB12 Ver 01.09
FTP
Server
Name (ML:root):root
331 Password required.
Password:
230 user Logged in.
ftp>
```

❷ 転送先ディレクトリへ移動します。

ルートディレクトリへのファイル転送はできません。

```
ftp>cd /lp
250 Command OK.
ftp>pwd
257"/lp" is current directory.
ftp>
```

❸ 転送モードを設定します。

転送モードには、ファイルの内容をそのまま出力する「BINARYモード」と、LFコードをCR+LFコードに変換する「ASCIIモード」の2種類があります。プリンタドライバで作成したファイルを転送する場合は、「BINARYモード」を使用します。

```
ftp> type binary
200 Type set to I.
ftp> type
Using binary mode to transfer files.
ftp>
```

❹ 印刷します。

例1) 印刷データ「test.prn」を転送する場合

```
ftp> put test.prn
```

例2) 印刷データを絶対パス「/users/test/test.prn」付きで指定して転送する場合

```
ftp> put /users/test/test.prn
```

❺ ログアウトします。

```
ftp> quit
```

メモ

quoteコマンドの「stat」を使って、クライアントのIPアドレス、ログインユーザ名、転送モードの3つの状態を確認することができます。また、statの後に論理ディレクトリ(lp, sjis, euc)を指定すると、プリンタの状態を確認することができます。

```
ftp> quote stat
211-FTP server status:
Connected to: 192,168,0,3,5,112
User logged in: root
Transfer type: BINARY
Data connection: Closed.
211 End of status.
ftp>

ftp> quote stat /lp
211-FTP directory status:
Ready
211 End of status.
ftp>
```

9章

10 NetWareにセットアップします

NetWare のプリントシステム

ノベル社のNetware6J、NetWare5J、NetWare4.1JおよびNetWare3.12Jネットワーク環境を利用して印刷するために必要な NetWare サーバとプリンタの設定を行います。

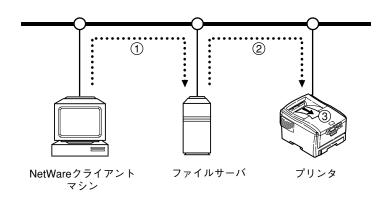
NetWareのネットワークにはNDSネットワークとバインダリネットワークがあります。プリンタのプリントシステムにはプリントサーバモードとリモートプリンタモードがあります。本プリンタで使用できる環境は次のとおりです。

○：使用できます
×：使用できません

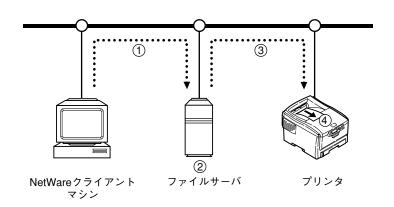
		プリンタ	
		プリントサーバモード	リモートプリンタモード
NDSネットワーク	NetWare3.12J		
	NetWare4.1J	○	○
	NetWare5J	○	○
	NetWare6J	○	○
バインダリネットワーク	NetWare3.12J	○	○
	NetWare4.1J	○	×
	NetWare5J	○	×
	NetWare6J	○	×

注 NetWare6J/5J の NDPS 機能には対応していません。NetWare6J/5J 付属の Novell プリントゲートウェイをお使いください。

プリントサーバモード（P-Server mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバとなったプリンタが、直接プリントキューへアクセスして、ジョブを取り出し、③印刷処理を実行します。
プリンタがプリントサーバの役目をするため、他のプリントサーバ（ファイルサーバ上やプリントサーバ専用のワークステーション）を必要としません。

リモートプリンタモード（R-Printer mode）

①ファイルサーバ上のプリントキューにジョブが記憶されると、②プリントサーバ（ファイルサーバ上、またはプリントサーバ専用ワークステーション）がジョブを取り出し、③プリントキューに割り当てられたプリンタにジョブを転送し、④印刷処理を実行します。
通常のNetWareのプリント機能（PSERVER.NLM/EXE）を利用するモードです。既存のプリントサーバが利用できます。

10章

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）プリントサーバモード

- コンピュータは Novell Client がインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の NetWare5J 環境を例に、WindowsXP Home Edition でセットアップしています。

NetWare 側

NDS ツリー名	: CORPORACIO
NDS コンテキスト名	: SLP_SCOPE.HCP
ファイルサーバ名	: HCP_SBD

プリンタ側

プリントサーバ名	: ML849C9B
プリントキュー名	: ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

NIC セットアップユーティリティ(AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NIC セットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ 日本語をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接 CD-ROM から起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300 の代わりに MLETB12 と表示されます。

イーサネットアドレスはネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⓭ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

- NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- ［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。
- ［検索するネットワークを指定する］を選択し、プリンタが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。
- ［ファイル］メニューの［検索］をクリックします。

⓮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

注
- パスワードは、手順⓬で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓯ ［NetWare］タブをクリックし、各項目を入力し、［設定］をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「プリントサーバ名」（ここでは「ML849C9B」）を入力します。

③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

注 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓰ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓱ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

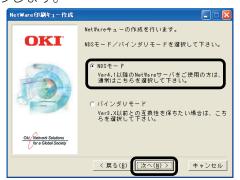
10章

NetWare ファイルサーバを設定します

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、[設定］メニューの［NetWare のキュー作成］を選択します。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ ［NDS モード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［コンテキスト］（ここでは NDS ツリー「CORPORACIO」、NDS コンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［プリントサーバモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［プリントキュー名］（ここでは「ML849C9B-Q1」）を入力し、［次へ］をクリックします。キューを新規に作成する場合は、作成する場所を指定します。

❼ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ　プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽ ［完了］をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」(26 ページ）をご覧ください。

ネットワークプリンタを設定します

❶ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❸ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［NetWare］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❿ 作成したプリントキュー名（ここでは「ML849C9B」）を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

⓬ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓭ ［完了］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓯ へ進みます。

⓮ ［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓭ からの続き

⓯ ［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモード

- コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の NetWare5J 環境を例に、WindowsXP Home Edition でセットアップしています。

NetWare 側

NDS ツリー名	: CORPORACIO
NDS コンテキスト名	: SLP_SCOPE.HCP
ファイルサーバ名	: HCP_SBD
プリントサーバ名	: ML849C9B
プリントキュー名	: ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

NIC セットアップユーティリティ(AdminManager)を使います。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

10章

❽ ［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ 日本語をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManagerが起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

⓭ ［設定］メニューの［OKI Deviceの設定］を選択します。

注
- NetWareファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- ［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。
- ［検索するネットワークを指定する］を選択し、プリンタが存在するNetWareネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。
- ［ファイル］メニューの［検索］をクリックします。

⑭ [パスワード入力] に [イーサネットアドレスの下6桁] を入力し、[OK] をクリックします。

注
- パスワードは、手順 ⑫ で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⑮ [NetWare] タブをクリックし、各項目を入力し、[設定] をクリックします。

① 「NetWareプロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② プリントサーバ名（任意の名前、ここでは「ML849C9B」）を入力します。

③ 「リモートプリンタ」にチェックを付けます。

注
- 「プリントサーバ名」はリモートプリンタモードでは使用しません。
- 「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⑯ 設定に間違いがなければ、[OK] をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⑰ 設定値を有効にするため、[はい] をクリックします。

注 この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

10章

NetWare ファイルサーバを設定します

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、［設定］メニューの［NetWare のキュー作成］を選択します。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ ［NDS モード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［コンテキスト］（ここでは NDS ツリー「CORPORACIO」、NDS コンテキスト「SLP_SCOPE.HCP」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［リモートプリンタモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❻ ［プリントサーバ名］（ここでは「ML849C9B」）を入力し、［次へ］をクリックします。

既存のプリントサーバを選択することも可能です。

❼ ［プリントキュー名］（ここでは「ML849C9B」）を入力し、［次へ］をクリックします。

既存のキューを選択することも可能です。

10 章

❽ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ　プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❾ ［完了］をクリックします。

❿ NetWareのファイルサーバのコンソールからプリントサーバを再起動します。

⓫ プリンタの電源をOFF/ONします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（26ページ）をご覧ください。

10章

ネットワークプリンタを設定します

❶ プリンタ添付の「プリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。

❷ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❸ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❻ ［プリンタドライバのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❼ ［ネットワークプリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❽ ［共有プリンタ］を選択し、［次へ］をクリックします。

❾ ［NetWare］を選択し、［次へ］をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は❿へ進みます。

❿ 作成したプリントキュー名（ここでは「SOFT22-Q」）を選択し、[次へ] をクリックします。

⓫ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、[次へ] をクリックします。

⓬ プリンタ名を入力し、[通常使うプリンタに設定する] にチェックを付け、[次へ] をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓭ [完了] をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓯ へ進みます。

⓮ [終了] をクリックします。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓭ からの続き

⓯ [完了] をクリックし、コンピュータを再起動します。

[プリンタ] フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare6J/5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモード

- バインダリサービスを利用するためには、ファイルサーバにバインダリコンテキストの指定が行われている必要があります。あらかじめ、サーバコンソールより次の設定を行ってください。

  バインダリコンテキスト「OU=SLP_SCOPE.0=HCP」の場合

  ```
  set Bindery Context = OU=SLP_SCOPE.0=HCP
  ```

- コンピュータには Novell Client がインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。

以下の NetWare5J 環境を例に、WindowsXP Home Edition でセットアップしています。

NetWare 側
　ファイルサーバ名　　　：HCP_SBD
プリンタ側
　プリントサーバ名　　　：ML849C9B
　プリントキュー名　　　：ML849C9B-Q1

プリンタを設定します

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）を使います。

❶ プリンタの電源を ON にします。

❷ Windows が起動していることを確認し、プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❸ ［スタート］-［マイコンピュータ］を選択します。

❹ ［リムーバブル記憶域があるデバイス］の［ML_COLOR］CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❺ ［SETUP］アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアッププログラムが起動します。

10章

❻ 使用許諾契約をよく読み、［同意する］をクリックします。

❼ ［ネットワークユーティリティのインストール］を選択し、［選択］をクリックします。

❽ ［NICセットアップユーティリティ］を選択し、［インストール］をクリックします。

❾ 日本語をクリックします。

❿ ［OKI Device Standard Setup］をクリックします。

⓫ ［インストールせずに、直接CD-ROMから起動する］を選択し、［次へ］をクリックします。

AdminManager が起動します。

⓬ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択します。機種名には、ML5300の代わりにMLETB12と表示されます。

注 イーサネットアドレスは、ネットワークの設定情報（Network Information）に表示されています。

10章

⓭ ［設定］メニューの［OKI Device の設定］を選択します。

- NetWare ファイルサーバが多数あると、一覧に表示されないことがあります。このような場合は検索するネットワークを指定してください。
- ［オプション］メニューの［環境設定］を選択し、［NetWare］タブをクリックします。
- ［検索するネットワークを指定する］を選択し、プリンタが存在する NetWare ネットワークアドレスを入力し、［登録］をクリックします。
- ［ファイル］メニューの［検索］をクリックします。

⓮ ［パスワード入力］に［イーサネットアドレスの下6桁］を入力し、［OK］をクリックします。

- パスワードは、手順 ⓬ で選択した「Ethernetアドレス」の下6桁を入力してください。
- パスワードを入力すると、画面上では「******」と表示されます。
- パスワードに英文字が入っている場合、大文字/小文字を正しく入力してください。

⓯ ［NetWare］タブをクリックし、各項目を入力し、［設定］をクリックします。

① 「NetWare プロトコルを使用する」にチェックを付けます。

② 「プリントサーバ名」（ここでは「ML849C9B」）を入力します。

③ 「プリントサーバ」にチェックを付けます。

「フレームタイプ」、「プリンタ名」を設定する必要はありません。

⓰ 設定に間違いがなければ、［OK］をクリックします。

設定値がプリンタに送信されます。

⓱ 設定値を有効にするため、［はい］をクリックします。

この時点でプリンタは新しい設定値で動作します。

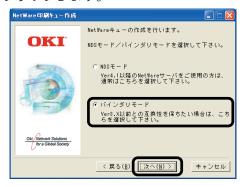
10章

NetWare ファイルサーバを設定します

NIC セットアップユーティリティ（AdminManager）が起動した状態から説明します。

❶ 一覧より、イーサネットアドレスを参照して、設定を行うプリンタを選択し、［設定］メニューの［NetWareのキュー作成］を選択します。

❷ ［次へ］をクリックします。

❸ ［バインダリモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

❹ プリントサーバを作成する［ファイルサーバ］（ここでは「HCP_SBD」）を選択し、［次へ］をクリックします。

❺ ［プリントサーバモード］を選択し、［次へ］をクリックします。

注 バインダリネットワークでは、リモートプリンタモードを選択できません。

❻ ［プリントキュー名］（ここでは「ML849C9B」）を入力し、［次へ］をクリックします。既存のキューを選択することも可能です。

❼ 設定に間違いがなければ、［実行］をクリックします。

メモ プリンタポート名は、自動的に「プリントサーバ名」+「-prn1」になります。

❽ ［完了］をクリックします。

❾ プリンタの電源を OFF/ON します。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」(26 ページ）をご覧ください。

10章

ネットワークプリンタを設定します

❶ プリンタ添付の「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。

❷ [スタート] - [マイコンピュータ] を選択します。

❸ [リムーバブル記憶域があるデバイス] の [ML_COLOR] CD-ROMアイコンをダブルクリックします。

❹ [SETUP] アイコンをダブルクリックします。

setup

セットアップププログラムが起動します。

❺ 使用許諾契約をよく読み、[同意する] をクリックします。

❻ [プリンタドライバのインストール] を選択し、[選択] をクリックします。

❼ [ネットワークプリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

❽ [共有プリンタ] を選択し、[次へ] をクリックします。

❾ [NetWare] を選択し、[次へ] をクリックします。

コンピュータによっては表示されない場合があります。表示されない場合は ❿ へ進みます。

❿ 作成したプリントキュー名（ここでは「ML849C9B」）を選択し、［次へ］をクリックします。

⓫ プリンタの機種名とプリンタドライバの種類を選択し、［次へ］をクリックします。

⓬ プリンタ名を入力し、［通常使うプリンタに設定する］にチェックを付け、［次へ］をクリックします。

プリンタドライバがインストールされます。

⓭ ［完了］をクリックします。

「コンピュータの再起動」画面が表示されたら?

☞ ⓯ へ進みます。

⓮ ［終了］をクリックします。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

☞ ⓭ からの続き

⓯ ［完了］をクリックし、コンピュータを再起動します。

［プリンタ］フォルダにプリンタアイコンが表示されると、セットアップは終了です。

NetWare3.12J

- コンピュータに Novell Client がインストールされている必要があります。
- WindowsXP/2000/NT4.0では、セットアップにはコンピュータの管理者の権限が必要です。
- NetWare サーバへログインするためのネットワークドライブ名は F：を例にしています。

以下の NetWare 環境を例にしています。

ファイルサーバ　：SOFT22-NW312
プリントサーバ　：ML849C9B
プリントキュー　：ML849C9B-Q1
プリンタ名　：ML849C9B-prn1

NetWare ファイルサーバを設定します

PCONSOLE を起動します

❶ クライアントマシンからスーパーバイザで、ファイルサーバにログインします。

```
F:¥>LOGIN SOFT22-NW312/supervisor
```

❷ PCONSOLE を起動します。

```
F:¥>pconsole
```

［利用可能な項目］が表示されます。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

プリントキューを作成します

❸ ［プリントキュー情報］を選択し、Enter キーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❹ Ins キーを押して、新しく作成するプリントキュー名（ここでは「ML849C9B-Q1」）を入力し、Enter キーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ名：ML849C9B-Q1

プリントキューが作成されます。

10章

プリントサーバを作成します

既存のプリントサーバを利用する場合は、以下の設定を行う必要はありません。「プリントサーバが管理するプリンタを作成します」へ進みます。

❺ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enterキーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❻ Insキーを押して、新しく作成するプリントサーバ名（ここでは「ML849C9B」）を入力し、Enterキーを押します。

新ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名：ML849C9B

プリントサーバが登録されます。

プリントサーバが管理するプリンタを作成します

❼ ［プリントサーバ情報］を選択し、Enterキーを押します。

利用可能な項目
ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞの変更
ﾌﾟﾘﾝﾄｷｭｰ情報
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報

❽ 作成したプリントサーバ（ここでは「ML849C9B」）を選択し、Enterキーを押します。

❾ ［プリントサーバ構成］を選択し、Enterキーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ情報
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞの変更
ﾌﾙﾈｰﾑ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞID
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞｵﾍﾟﾚｰﾀ
ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾕｰｻﾞ

❿ ［プリンタの構成］を選択し、Enterキーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⓫ 他のプリンタがインストールされていないプリンタ番号（ここでは［インストールされていません　0］）を選択し、Enterキーを押します。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　5

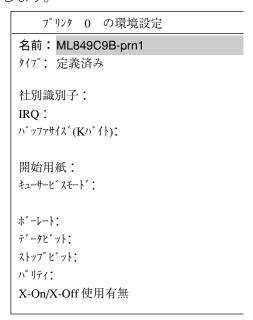
⓬ ［名前］の欄に、リモートプリンタの名前（ここでは「ML849C9B-prn1」）を入力します。

ﾌﾟﾘﾝﾀ　0　の環境設定

名前：ML849C9B-prn1
ﾀｲﾌﾟ：　定義済み

社別識別子：
IRQ：
ﾊﾞｯﾌｧｻｲｽﾞ(Kﾊﾞｲﾄ)：

開始用紙：
ｷｭｰｻｰﾋﾞｽﾓｰﾄﾞ：

ﾎﾞｰﾚｰﾄ：
ﾃﾞｰﾀﾋﾞｯﾄ：
ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ：
ﾊﾟﾘﾃｨ：
X-On/X-Off 使用有無

⓭ ［タイプ］を選択し、Enterキーを押すと、［プリンタタイプ］が表示されます。

⓮ ［リモートパラレル，LPT1］を選択し、Enterキーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾀﾀｲﾌﾟ

ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾛｰｶﾙﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM1
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM2
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM3
ﾛｰｶﾙｼﾘｱﾙ，COM4
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT1
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT2
ﾘﾓｰﾄﾊﾟﾗﾚﾙ，LPT3

⓯ Escキーを押し、［変更を保存しますか？］と表示されたら、［Yes］を選択し、Enterキーを押します。

プリンタが作成されます。

構成完了ﾌﾟﾘﾝﾀ

ML849C9B-prn1　0
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　1
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　2
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　3
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　4
ｲﾝｽﾄｰﾙされていません　5

10章

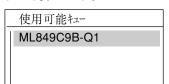
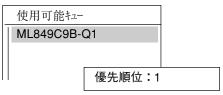
プリンタにプリントキューを割り当てます

⑯ ［プリンタでサービスされているキュー］を選択し、Enter キーを押します。

ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ構成ﾒﾆｭｰ
使用されているﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ
ﾌﾟﾘﾝﾀ通知ﾘｽﾄ
ﾌﾟﾘﾝﾀでｻｰﾋﾞｽされているｷｭｰ
ﾌﾟﾘﾝﾀの構成

⑰ ［定義済みのプリンタ］から、プリントキューを割り当てるプリンタ（ここでは「ML849C9B-prn1」）を選択し、 Enter キーを押します。

定義済みのﾌﾟﾘﾝﾀ
ML849C9B-prn1　0

⑱ Ins キーを押して、［使用可能キュー］からプリンタに割り当てるプリントキュー（ここでは「ML849C9B-Q1」）を選択し、Enter キーを押します。

⑲ プリントキューの優先順位（ここでは「1」）を入力し、Enter キーを押します。

プリントキューと優先順位が割当てられます。

⑳ 複数のプリントキューを割り当てる場合は、手順 ⑱ と ⑲ を繰り返します。

Pconsoleを終了します

㉑ ［終了しますか? PConsole］が表示されるまで Esc キーを押し、［Yes］を選択します。

プリンタを設定します

プリントサーバモードの場合

❶ プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「プリンタを設定します」（239 ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ ファイルサーバコンソールでプリントサーバ（ここでは「ML849C9B」）を起動します。

```
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

注 もしプリントサーバが起動している場合は再起動します。

```
:UNLOAD PSERVER
:LOAD PSERVER ML849C9B
```

❷ プリンタを設定します。

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「プリンタを設定します」（232 ページ）の手順に従ってください。

ネットワークプリンタをセットアップします

プリントサーバモードの場合

❶ ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J（バインダリ）プリントサーバモードの「ネットワークプリンタを設定します」（243 ページ）の手順に従ってください。

リモートプリンタモードの場合

❶ ネットワークプリンタをセットアップします

NetWare6J/5J/4.1J（NDS）リモートプリンタモードの「ネットワークプリンタを設定します」（237 ページ）の手順に従ってください。

11 印刷します

給紙方法と排出方法を決めます

用紙の種類、サイズ、厚さによって給紙方法と排出方法が異なります。次の手順で全ての条件を満足する方法を確認してください。
用紙の仕様については、「使用できる用紙について」（リファレンス編）をご覧ください。

1　用紙の種類、厚さ、サイズから給紙方法と排出方法を確認します。

◎ ：片面、両面印刷*2 とも使用できます
○ ：片面印刷のみ使用できます
△ ：一部のサイズで使用できます（片面印刷のみ）
× ：使用できません

種　類	厚　さ	サイズ	給紙方法			排出方法	
			用紙カセット*1		マルチパーパストレイ手差し	フェイスアップ(表排出)	フェイスダウン(裏排出)
			トレイ1	トレイ2*2			
普通紙*3*8	連量 55～64kg (64～74g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5
	連量 65～90kg (75～105g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	◎	◎	◎	◎	◎
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5
	連量 91～105kg (106～120g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	○	○	○	○	○
		A6	○	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5
	連量 106～150kg (121～175g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	○	○	○	○
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	△*5	△*6	○	○	△*5
	連量 151～172kg (176～200g/m^2)	A4, A5 B5, レター リーガル(13インチ) リーガル(13.5インチ) リーガル(14インチ) エグゼクティブ	×	×	○	○	×
		A6	×	×	○	○	×
		カスタム*4	×	×	○	○	×
はがき*7	—	はがき, 往復はがき	×	×	○	○	×
封筒*7*8	—	封筒1(長形3号) 封筒2(長形4号) 封筒3(洋形4号) 封筒4(A4サイズ) Com-9, Com-10, DL C5, Monarch	×	×	○	○	×
ラベル紙*7	—	A4, レター	×	×	○	○	×
OHPシート*7	—	A4, レター	×	×	○	○	×

*1： 上から順にトレイ 1、トレイ 2 となります。
*2： トレイ 2、両面印刷はオプションです。
*3： 全ての用紙は縦送りです。
*4： カスタムは幅 100 ～ 215.9mm、長さ 148 ～ 1200mm です。ただし、長さが 356mm 以上の場合は幅210～215.9mmとなります。Mac OS X 10.0～10.2.2ではカスタム用紙はサポートされません。
*5： 幅 105 ～ 215.9mm、長さ 148 ～ 355.6mm です。
*6： 幅 148 ～ 215.9mm、長さ 210 ～ 355.6mm です。
*7： はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートを設定すると印刷速度が遅くなります。
*8： 高温多湿により波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）

注 用紙サイズを A6、A5 サイズおよび用紙幅が 148mm（A5 幅）以下を設定すると、印刷速度が遅くなります。

11章

メディアウェイトとメディアタイプを設定します

プリンタの操作パネルでメディアウェイト、メディアタイプを設定します。
メディアウェイトは用紙の厚さ、メディアタイプは用紙の種類に関する設定です。

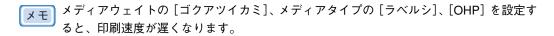
- メディアウェイト、メディアタイプを適切な値に設定しないと印刷品質が低下したり、定着器ユニットを傷めるおそれがあります。
- 用紙の種類と厚さにより、設定が必要な項目や設定値が異なります。

1 用紙の種類と厚さから、メディアウェイト、メディアタイプの設定値を確認します。

種　類	厚　さ	操作パネルの設定値		プリンタドライバの［用紙厚］の設定*2
		メディアウェイト（用紙の厚さ）	メディアタイプ（用紙の種類）*1	
普通紙*3	55～64kg (64～74g/m²)	フツウシ	フツウシ	普通紙
	65～89kg (75～104g/m²)	アツイカミ		厚い紙
	90～103kg (105～120g/m²)	ヨリアツイカミ		より厚い紙
	104～172kg (121～200g/m²)	ゴクアツイカミ		ごく厚い紙
はがき*4	—	—	—	—
封筒*4	—	—	—	—
ラベル紙	0.1～0.17mm未満	ヨリアツイカミ	ラベルシ	ラベル紙1
	0.17～0.2mm	ゴクアツイカミ		ラベル紙2
OHPシート*5	—	—	OHP	OHPシート

*1：メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。
*2：用紙の厚さ・種類は操作パネルとプリンタドライバで設定することができます。プリンタドライバで設定した場合は、プリンタドライバ設定が優先されます。プリンタドライバの［給紙方法］で［自動選択］が選択されている場合、または［用紙厚］で［プリンタ設定］が選択されている場合は、操作パネルの設定で印刷します。
*3：両面印刷できる用紙の厚さは連量 55～90kg（64～105g/m²）です。
*4：はがき、封筒はメディアウェイト、メディアタイプの設定の必要はありません。
*5：OHP シートはメディアタイプのみ設定します。メディアウェイトの設定は必要ありません。

メディアウェイトの［ゴクアツイカミ］、メディアタイプの［ラベルシ］、［OHP］を設定すると、印刷速度が遅くなります。

11章

2 操作パネルでメディアウェイトを設定します。

- メディアウェイトは、給紙するトレイごとに設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアウェイトは、Webページからも設定できます。詳しくは、「ネットワーク機能について」の「Webブラウザを使います」（リファレンス編）をご覧ください。

ここでは、トレイ1で普通紙（70kg）に印刷するときの設定手順（［トレイ1　メディアウェイト］を［アツイカミ］に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［トレイ1　メディアウェイト］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［アツイカミ］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

3 操作パネルでメディアタイプを設定します。

- メディアタイプの工場出荷時の設定は［フツウシ］です。普通紙に印刷する場合はそのまま使用してください。
- メディアタイプは、給紙するトレイごとに設定してください。
- ラベル紙、OHPシートは必ず設定してください。
- はがき、封筒は設定の必要はありません。
- メディアタイプは［フツウシ］、［ラベルシ］、［OHP］以外は設定しないでください。
- メディアタイプは、Webページからも設定できます。詳しくは、「ネットワーク機能について」の「Webブラウザを使います」（リファレンス編）をご覧ください。

ここでは、マルチパーパストレイでOHPシートに印刷するときの設定手順（［MPトレイ　メディアタイプ］を［OHP］に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー+」スイッチを数回押し、［メディア　メニュー］を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［MPトレイ　メディアタイプ］を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー+」スイッチまたは「メニュー−」スイッチを数回押し、［OHP］を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、［オンライン］にします。

用紙カセットから印刷します

普通紙（A6はトレイ1のみ）は用紙カセットから印刷します。はがき、封筒、ラベル紙、OHPシートは印刷できません。
用紙カセットは、トレイと呼ぶ場合があります。
トレイ1、トレイ2（オプション）とも同じ操作になります。

1 用紙カセットに用紙をセットします。

用紙ガイド
用紙ストッパ
プレート

❶ 用紙カセットを引き出します。

注 プレートについているゴムは、はがさないでください。

❷ 用紙ストッパを用紙サイズに合わせ、確実に固定します。

❸ 用紙をよくさばき、上下左右をそろえます。

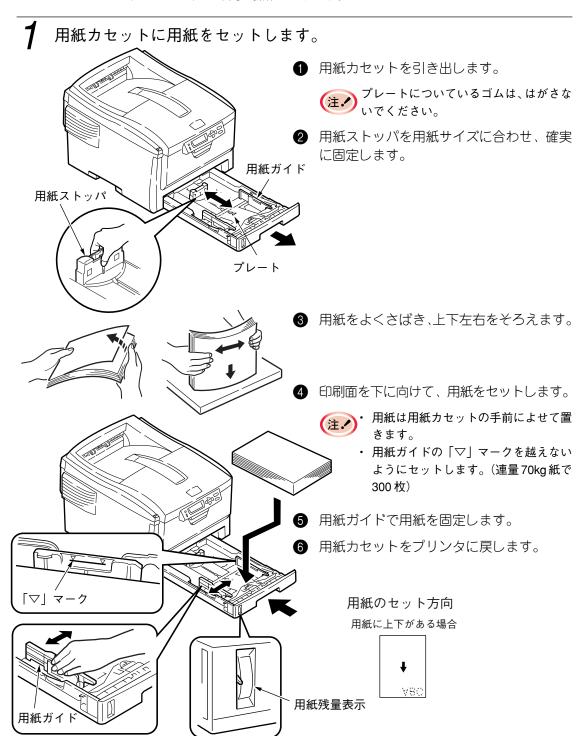
❹ 印刷面を下に向けて、用紙をセットします。

注
- 用紙は用紙カセットの手前によせて置きます。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットします。（連量70kg紙で300枚）

❺ 用紙ガイドで用紙を固定します。

❻ 用紙カセットをプリンタに戻します。

「▽」マーク
用紙ガイド
用紙残量表示

用紙のセット方向
用紙に上下がある場合

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
- 用紙ガイドと用紙ストッパは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 用紙ガイドの「▽」マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 300 枚）（トレイ 2（オプション）では 530 枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- 用紙カセットを差し込むときはあまり勢いよく押さないでください。
- 印刷中の用紙カセットおよび両面印刷時やトレイ 2（オプション）からの印刷時のトレイ 1 の用紙カセットは引き出さないでください。
- 他のプリンタ等で一度印刷した用紙で、裏面印刷はしないでください。

2 操作パネルで用紙サイズを設定します。

注 用紙サイズは、Web ページからも設定できます。詳しくは、「ネットワーク機能について」の「Web ブラウザを使います」（リファレンス編）をご覧ください。

ここでは、トレイ 1 で A4 用紙に印刷するときの設定手順（[トレイ 1　ヨウシサイズ] を [A4] に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー] を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[トレイ 1　ヨウシサイズ] を表示します。

❹ 「設定」スイッチを押します。

❺ 「メニュー＋」スイッチまたは 「メニュー－」スイッチを数回押し、[A4] を表示します。

❻ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❼ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン] にします。

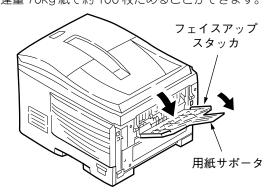
3 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 250 枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

注 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。

4 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

11
章

5 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択し、印刷します。

・ Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、トレイ１でA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
・ プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
・ アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「いろいろな印刷について」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ ［給紙方法］で［自動選択］を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「いろいろな印刷について」の「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を選択し、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［トレイ 1］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

11
章

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［トレイ1］を選択します。

❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［トレイ 1］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

11
章

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルで［トレイ1］を選択します。

❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

注 Mac OS X 10.0～10.0.4 では、［用紙厚］の設定はできません。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

11 章

マルチパーパストレイから印刷します

はがき、封筒、ラベル紙、OHP シートはマルチパーパストレイから印刷します。普通紙も印刷できます。

1 用紙をセットします。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

❸ 用紙の上下左右をそろえます。

❹ 印刷面を上に向けて、用紙を手差しガイドにそってまっすぐ突き当たるまで差し込みます。

❺ セットボタンを押します。

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。(用紙にシワが発生することがあります。)
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。(連量 70kg 紙で 100 枚)
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒は縦送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

---

2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン(印刷面を裏にして排出)の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量 70kg 紙で約 250 枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ(印刷面を表にして排出)の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量 70kg 紙で約 100 枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量 151kg 以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHP シート、355.6mm 以上の長さのカスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 操作パネルで用紙サイズを設定します。

注 用紙サイズは、Webページからも設定できます。詳しくは、「ネットワーク機能について」の「Webブラウザを使います」（リファレンス編）をご覧ください。

ここでは、マルチパーパスフィーダでA4用紙に印刷するときの設定手順（[MPトレイ　ヨウシサイズ]を[A4]に設定します）を説明します。

❶ 「メニュー＋」スイッチを数回押し、[メディア　メニュー]を表示します。

❷ 「設定」スイッチを押します。

❸ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、[MPトレイ　ヨウシサイズ]を表示し、「設定」スイッチを押します。

❹ 「メニュー＋」スイッチまたは「メニュー－」スイッチを数回押し、[A4]を表示します。

❺ 「設定」スイッチを押し、設定値の右側に「＊」を付けます。

❻ 「オンライン」スイッチを押し、[オンライン]にします。

4 アプリケーションを起動し、印刷したいファイルを開きます。

5 プリンタドライバで[用紙サイズ]、[給紙方法]を選択し、印刷します。

注
- Windowsでは[ワードパッド]、Macintoshでは[SimpleText]、Mac OS Xでは[TextEdit]を使い、マルチパーパストレイでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの[用紙厚]ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。[用紙厚]の初期値の[プリンタ設定]では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「いろいろな印刷について」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

メモ [給紙方法]で[自動選択]を選択すると、指定した用紙が入っているトレイを自動的に選択します。詳しくは、「いろいろな印刷について」の「トレイを自動的に選択したい」（リファレンス編）をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択し、［OK］をクリックします。

❺ ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を選択し、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ ［印刷］画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

11
章

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❼［OK］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

11
章

Macintosh プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷ ［用紙］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

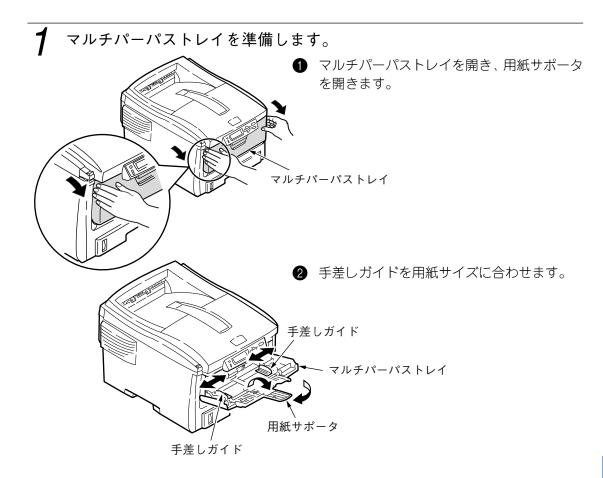
❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。

> 注：Mac OS X 10.0～10.0.4 では、［用紙厚］の設定はできません。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

手差しで１枚ずつ印刷します

マルチパーパストレイで手差し印刷をすることもできます。
コンピュータから印刷を実行した後にプリンタに用紙をセットし、１枚ずつ確認してから 「オンライン」スイッチを押して印刷をします。

メモ
- 通常とは違った用紙を少量ずつセットして印刷する場合などに便利です。
  なお、［システム　コウセイ　メニュー］の［マニュアル　タイムアウト］の設定時間を越えると印刷ジョブがキャンセルされますので、印刷ジョブを自動的に消したくない場合は、設定値を［オフ］にしてください。
- 複数枚の用紙をマルチパーパストレイから自動的に給紙したい場合は、「マルチパーパストレイから印刷します」（265 ページ）をご覧ください。

1 マルチパーパストレイを準備します。

❶ マルチパーパストレイを開き、用紙サポータを開きます。

マルチパーパストレイ

❷ 手差しガイドを用紙サイズに合わせます。

手差しガイド
マルチパーパストレイ
用紙サポータ
手差しガイド

11章

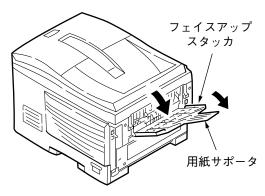
2 用紙の排出先をセットします。

フェイスダウン（印刷面を裏にして排出）の場合

用紙はトップカバー上に排出され、印刷した順に重なります。
連量70kg紙で約250枚をためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカが閉じていることを確認します。

フェイスアップ（印刷面を表にして排出）の場合

用紙はフェイスアップスタッカ上に排出され、印刷した順と逆に重なります。
連量70kg紙で約100枚ためることができます。

❶ プリンタ後面のフェイスアップスタッカを開きます。

❷ 用紙サポータを開きます。

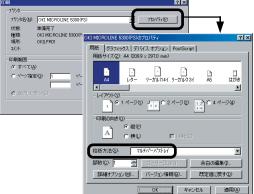
- 印刷中にフェイスアップスタッカを開閉しないでください。紙づまりの原因になります。
- 連量151kg以上の厚紙、はがき、封筒、ラベル紙、OHPシート、355.6mm以上の長さのカスタムサイズは、紙づまりの原因になりますので、必ずフェイスアップで排出してください。

3 アプリケーションを起動します。

印刷したいファイルを開きます。

4 プリンタドライバで［用紙サイズ］、［給紙方法］を選択します。

- Windowsでは［ワードパッド］、Macintoshでは［SimpleText］、Mac OS Xでは［TextEdit］を使い、手差しでA4サイズの普通紙に印刷する場合を例にしています。
- プリンタドライバの［用紙厚］ではメディアウエイト、メディアタイプと同等の設定をすることができます。［用紙厚］の初期値の［プリンタ設定］では、プリンタの操作パネルで設定した値で印刷されますので、通常は設定する必要はありません。
  プリンタドライバで設定を変更する場合は、印刷するたびに設定する必要があります。
- アプリケーションにより、画面や手順が異なる場合があります。正しく印刷できない場合は、「いろいろな印刷について」の「プリンタドライバの初期設定を変更したい」（リファレンス編）をご覧ください。

WindowsMe/98/95 PSプリンタドライバの場合

1. ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。
2. ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。
3. ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。
4. ［プロパティ］をクリックし、［用紙］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。
5. ［デバイスオプション］タブの［プリンタの機能］で［用紙厚］を、［設定の変更］で［プリンタ設定］を選択します。［プリンタの機能］で［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］を、［設定の変更］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。
6. 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

WindowsXP/2000 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［詳細設定］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❺ ［用紙／品質］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［詳細設定］をクリックし、［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000 では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［印刷］をクリックし、印刷します。

11章

WindowsNT4.0 PS プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］をクリックし、［ページ設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺ ［詳細］タブの［ドキュメントのオプション］-［プリンタの機能］-［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択し、［OK］をクリックします。

❻ 「印刷」画面で［OK］をクリックし、印刷します。

11
章

Windows PCL プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［サイズ］で［A4］、［印刷の向き］で［縦］または［横］を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［印刷］を選択します。

❹ ［プロパティ］（WindowsXPでは［詳細設定］）をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❺ ［設定］タブの［給紙方法］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❻ ［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択します。
［オプション］をクリックし、［マルチパーパス指定］で［手差しとして扱う］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

❼ ［OK］をクリックします。
（Windows2000では、この操作は必要ありません。）

❽ 「印刷」画面で［OK］または［印刷］をクリックし、印刷します。

Macintosh プリンタドライバの場合

❶［ファイル］メニューの［用紙設定］を選択します。

❷［用紙］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹［給紙元］で［マルチパーパストレイ］を選択します。

❺［ジョブオプション］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を選択し、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］にチェックを付けます。

❻［プリント］をクリックし、印刷します。

11
章

Mac OS X プリンタドライバの場合

❶ ［ファイル］メニューの［ページ設定］を選択します。

❷ ［用紙サイズ］で［A4］、［方向］で適切な方向を選択し、［OK］をクリックします。

❸ ［ファイル］メニューの［プリント］を選択します。

❹ ［給紙］パネルで［マルチパーパストレイ］を選択します。

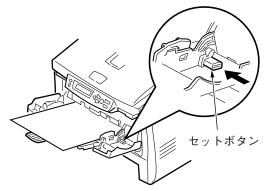
❺ ［プリンタの機能］パネルの［用紙厚］で［プリンタ設定］を、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］で［はい］を選択します。

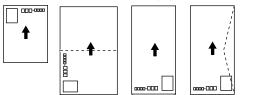
注 Mac OS X 10.0～10.0.4 では、［マルチパーパストレイを手差しとして扱う］の設定はできません。

❻ ［プリント］をクリックし、印刷します。

11
章

5 用紙をセットします。

プリンタの操作パネルに「A4 ヲ　MP トレイニ　イレテ／オンライン　スイッチヲ　オシテクダサイ」と表示されたら、用紙をマルチパーパストレイにセットし、セットボタンを押します。

用紙のセット方向

はがき　往復はがき　封筒1, 2, 4　封筒3　用紙に上下がある場合

- 適切な温度・湿度に保管した用紙を使用してください。湿度によりカールや波打ちが発生した用紙は使用しないでください。（用紙にシワが発生することがあります。）
- 手差しガイドは、用紙との間に隙間ができないように調節してください。また、用紙が曲がるほど強く押しつけないでください。
- 複数枚セットする場合は、手差しガイドの[↓]マークを越えないようにセットしてください。（連量 70kg 紙で 100 枚）
- 用紙は縦送りでセットしてください。
- サイズ、種類、厚さの異なる用紙を一度にまとめてセットしないでください。
- 用紙を追加する場合は、先に入っている用紙を取り出し、追加する用紙と上下左右をそろえてからセットしてください。
- はがき、封筒の反りは吸入不良の原因になります。反りのないものを使用してください。反りは 2mm 以内に修正してください。
- 封筒は縦送りでセットしてください。
- 封筒の後端部ののり付け部が折れ曲がっているものは、吸入不良になることがあります。折れ曲がりを修正してから使用してください。
- マルチパーパストレイの上に印刷する用紙以外のものを置いたり、上から押したり、無理な力を加えたりしないでください。

6 操作パネルで 「オンライン」スイッチを押します。

印刷が開始されます。

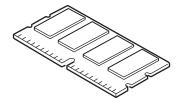
［システム　コウセイ　メニュー］で設定されている［マニュアル　タイムアウト］の時間内に 「オンライン」スイッチを押さないと、印刷はキャンセルされます。

12 オプション品について

増設メモリ

プリンタのメモリ容量を増やすボードです。複雑なデータでメモリ不足のエラーが発生するときや、部単位印刷で［チョウアイ　エラー］が表示されるときに追加します。

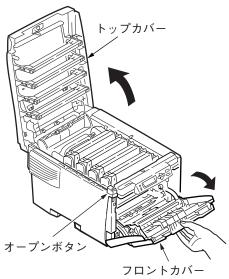
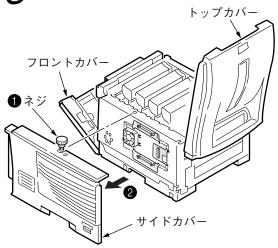
MLMEM64C 増設メモリ

増設メモリ	メモリ量（総メモリ量）
なし(標準)	64MB（64MB）
MLMEM64C	+64MB（128MB）

- 必ず沖データ純正品を使用してください。沖データ純正品以外を使用した場合、動作の保証はできません。
- 両面印刷を行う場合は、64MB 増設メモリの追加を推奨します。
- 長尺印刷を行う場合は、64MB 増設メモリの追加を推奨します。
- メモリ用スロットは 1 スロットです。

1 プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

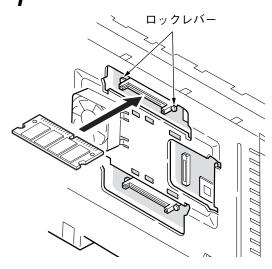
注 電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ 電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

3 サイドカバーを外します。

❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

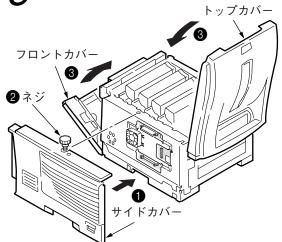
❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 メモリを取り付けます。

❶ メモリを袋から取り出す前に、袋を金属部に接触させて静電気を除去します。

❷ 空きスロットにメモリを差し込みます。

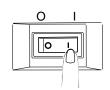
❸ 左右のロックレバーで確実に固定されていることを確認します。

注 電子部品やコネクタ端子には触らないでください。

5 サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

7 メニューマップ印刷を行い、増設メモリが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap
Printer Serial Number:N31131B  13 30
CU version:X1.27 [ I00.92 S2.3.0q B0
PU version:01.01.08 [ PI02.12 L000.0
PCL Program version:01.45 [ 0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE67 00.0
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:128 MB
Flash Memory:4 MB [ F33 ]
HDD:uninstalled
JP1  DPR:1.1 23
```

❶ メニューマップ印刷をします。

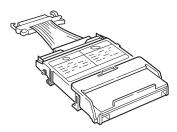
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

❷ ヘッダ部分の「Total Memory Size」に表示される総メモリ量を確認します。

内蔵ハードディスク

プリンタに追加する内蔵ハードディスクです。確認印刷、認証印刷、印刷ジョブの保存、スプール印刷や、部単位印刷で［チョウアイ　エラー］が表示されるときをに使用します。

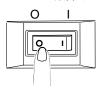
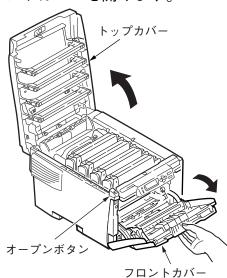
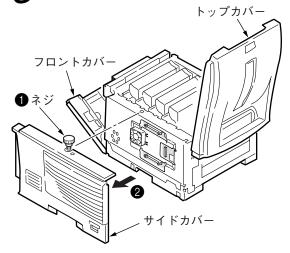
ハードディスクを装着した場合はシャットダウンメニューを実行して電源を切ってください。いきなり電源を切ると、ハードディスクに損傷を与え、使用不能になることがあります。

メモ

ハードディスクは、「PCL」、「キョウツウ」および「PSE」の3つのパーティションに分割されており、出荷時またはハードディスク初期化時には各パーティションのサイズは下記のように割り当てられます。

PCL	20%（2GB）
キョウツウ	50%（5GB）
PSE	30%（3GB）

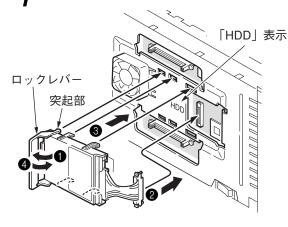
1 プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

12章

2 トップカバーとフロントカバーを開けます。

3 サイドカバーを外します。

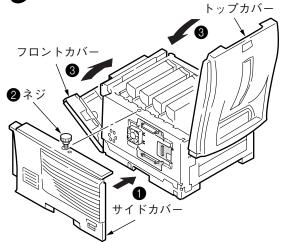
❶ ネジ（1ケ所）をゆるめます。

❷ サイドカバーを外します。
サイドカバーの上部を持ち上げながら外側にずらすと外れます。

4 内蔵ハードディスクを取り付けます。

❶ 内蔵ハードディスクのロックレバーを引き起こします。

❷ 内蔵ハードディスクを持ち、コントロール基板上のコネクタにケーブルを差し込みます。

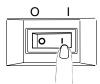
❸「HDD」の表示のラインに合わせて内蔵ハードディスクをセットします。

❹ ロックレバーをカチッと音がするまで倒します。

5　サイドカバーを取り付けます。

❶ サイドカバーを取り付けます。

❷ ネジ（1ケ所）で固定します。

❸ トップカバーとフロントカバーを閉じます。

6　プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

7　メニューマップ印刷を行い、内蔵ハードディスクが正しく取り付けられていることを確認します。

MenuMap

Printer Serial Number:N31131B　13 30
CU version:X1.27 [100.92 S2.3.0q B0
PU version:01.01.08 [P102.12 L000.0
PCL Program version:01.45 [0A.16 X0
PSE Program version:3010, PSE67 00.0
両面印刷:uninstalled トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [F33]
HDD:10.06 GB [F33]
JP1　DPR:1.1 23

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

❷「HDD」に内蔵ハードディスクの容量が表示されていることを確認します。

12
章

8 プリンタドライバで［ハードディスク］を設定します。

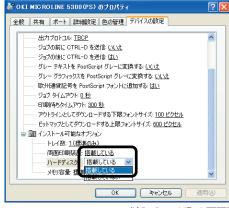
- WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。
- Mac OS X では設定する必要はありません。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［ハードディスク］を、［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

12章

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［ハードディスク］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［構成］をクリックします。

❸ ［ハードディスク］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

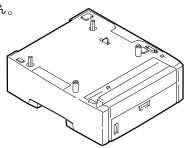
Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

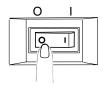
❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（185 ページ）をご覧ください。

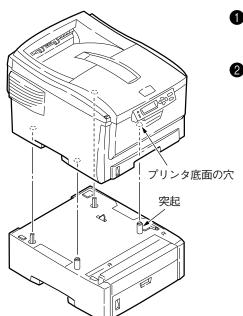
セカンドトレイユニット

プリンタにセットできる用紙量を増やすトレイです。連量70kg紙の場合530枚セットでき、標準の用紙カセット、マルチパーパストレイと合わせて930枚を連続して印刷できるようになります。

 A6用紙は使用できません。

1　プリンタの電源をOFFにし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

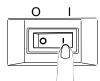
 電源をONのまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（26ページ）をご覧ください。

2　プリンタをセカンドトレイユニットに載せます。

注　プリンタは約25kgあります。2人以上で持ち上げてください。

❶ プリンタ底面の穴とセカンドトレイユニットの突起を合わせます。

❷ プリンタをセカンドトレイユニットの上に静かに載せます。

取り外しは取り付けの逆の手順で行います。

3 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

4 メニューマップ印刷を行い、セカンドトレイユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

❶ メニューマップ印刷をします。

詳しくは「メニューマップ印刷をします」（26 ページ）をご覧ください。

❷ ヘッダ部分に「トレイ2」が表示されていることを確認します。

5 プリンタドライバでトレイの数を設定します。

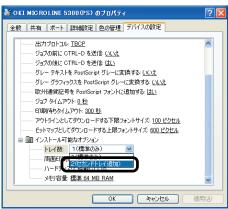
注 WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［トレイ数］を、［設定の変更］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

12章

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

(WindowsXP の画面)

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。(WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。)

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［トレイ数］で［2(セカンドトレイ追加)］を選択し、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］(WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］)をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

(WindowsXP の画面)

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。(WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。)

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［トレイ数］で現在のトレイの総数を入力し、［OK］をクリックします。

メモ TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［構成］をクリックします。

❸ ［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（185 ページ）をご覧ください。

Mac OS X の場合

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

❷ ［MICROLINE 5300］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

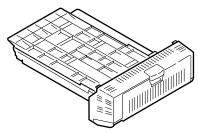
❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。

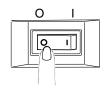
❺ プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2 の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2 の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［トレイ数］で［2（セカンドトレイ追加）］を選択します。）

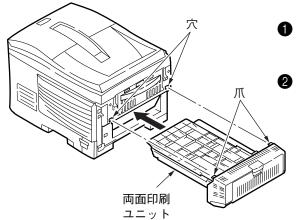
両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するユニットです。

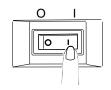
両面印刷には増設メモリの追加を推奨します。詳しくは「増設メモリ」（284 ページ）をご覧ください。

1　プリンタの電源を OFF にし、電源コード、プリンタケーブルを取り外します。

注：電源を ON のまま取り付けると、プリンタが故障するおそれがあります。

メモ：電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

2　両面印刷ユニットの保護テープ（2ヶ所）をはがします。

3 両面印刷ユニットを取り付けます。

❶ 両面印刷ユニットをプリンタ背面下部に奥までしっかりと差し込みます。

❷ 両面印刷ユニットの両端の爪がプリンタの穴にしっかり入っていることを確認してください。

4 プリンタに電源コード、プリンタケーブルを取り付け、電源をONにします。

5 メニューマップ印刷を行い、両面印刷ユニットが正しく取り付けられていることを確認します。

```
MenuMap

Printer Serial Number:N31131B  13 302
CU version:X1.27 [ 100.92 S2.3.0q B02
PU version:01.01.08 [ P102.12 L000.09
PCL Program version:01.45 [ 0A.16 X00
PSE Program version:3010, PSE67 00.01
両面印刷:installed トレイ1:A4
Total Memory Size:64 MB
Flash Memory:4 MB [ F33 ]
HDD:uninstalled
JP1  DPR:1.1 23
```

❶ メニューマップ印刷をします。
詳しくは「メニューマップ印刷をします」（27ページ）をご覧ください。

❷ ヘッダ部分に「両面印刷：installed」が表示されていることを確認します。

12章

プリンタドライバで両面印刷ユニットの設定をします。

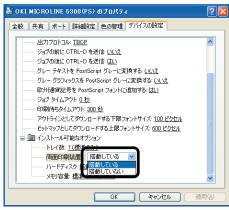
WindowsXP/2000/NT4.0 はコンピュータの管理者の権限が必要です。

WindowsMe/98/95 PS プリンタドライバの場合

（WindowsMe の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用できるオプション］で［両面印刷装置］を、［設定の変更］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

WindowsXP/2000/NT4.0 PS プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PS)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスの設定］タブの［インストール可能なオプション］の［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］を選択し、［セットアップ］（WindowsNT4.0の場合は［プリンタの情報を取得する］）をクリックすると、自動的に設定されます。

Windows PCL プリンタドライバの場合

（WindowsXP の画面）

❶ ［スタート］-［設定］-［プリンタ］を選択します。（WindowsXP では［スタート］-［コントロールパネル］-［プリンタとその他のハードウェア］-［プリンタとFAX］をクリックします。）

❷ ［OKI MICROLINE 5300(PCL)］アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、［プロパティ］を選択します。

❸ ［デバイスオプション］タブの［利用可能な装置］の［両面印刷ユニット］にチェックを付け、［OK］をクリックします。

メモ　TCP/IPでネットワーク接続をしている場合、［プリンタの情報を取得する］をクリックすると、自動的に設定されます。

Macintosh（ネットワーク接続）の場合

❶ ［セレクタ］でプリンタを選択し、［再設定］をクリックします。

❷ ［構成］をクリックします。

❸ ［両面印刷装置］で［搭載している］を選択し、［OK］をクリックします。

❹ ［セレクタ］を閉じます。

Macintosh（USB 接続）の場合

❶ デスクトップ上のプリンタアイコンをゴミ箱へドラッグし、空にします。

❷ デスクトップ・プリンタ Utility を使用して、デスクトップ・プリンタを再度作成します。デスクトップ・プリンタを作成し直すと、設定も更新されます。

メモ　デスクトップ・プリンタの作成方法については、「USB 接続で Macintosh にセットアップします」の「デスクトップ・プリンタを作成します」（185 ページ）をご覧ください。

Mac OS X の場合

❶ ハードディスクの［アプリケーション］-［ユーティリティ］フォルダ内の［プリントセンター］（Mac OS X 10.1.5 以前では［Applications］-［Utilities］フォルダ内の［Print Center］）をダブルクリックします。

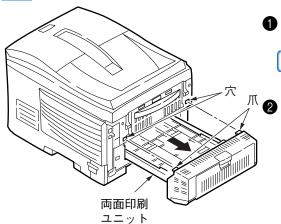
❷ ［MICROLINE 5300］を選択し、［削除］をクリックします。

❸ ［プリンタを追加］をクリックします。

❹ ネットワーク接続の場合は［AppleTalk］、USB 接続の場合は［USB］を選択します。

❺ プリンタ名を選択し（USB接続でMac OS X 10.2 の場合、プリンタの機種で［oki］を選択し、機種名のリストから使用するプリンタ名を選択します）、［追加］をクリックします。

❻ ［プリンタリスト］に追加したプリンタ名が表示されたことを確認し、［プリントセンター］を閉じます。
（Mac OS X 10.2 の場合、追加したプリンタ名を選択し、［プリンタ］-［情報を見る］メニューの［インストール可能なオプション］パネルで［両面印刷装置］にチェックを付けます。）

メモ　両面印刷ユニットは以下の手順で外します。

❶ プリンタの電源を OFF にします。

メモ　電源の切り方は「電源を切ります」（26 ページ）をご覧ください。

❷ 両面印刷ユニットを持ち上げながら取り外します。

オキカラーページプリンタ

MICROLINE 5300

ユーザーズマニュアル（セットアップ編）

発行日　2004年 7月　第3版

発行者　株式会社 沖データ

42267202EE

このマニュアルは再生紙を使用しています。